

＜新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業(令和2年度実施計画分)の実施状況と効果＞

整理番号	事業名	事業の概要	交付金活用額(円)	実施状況	事業の効果
1	プロスポーツチームによる「STAY at HOME」等推進事業	(1)外出自粛により外でのスポーツ観戦などできない県民に元気を与える、(2)県民に県内プロスポーツ選手を一層身近に感じてもらう、新型コロナ収束後の集客力向上につなげることを目的として、県内プロスポーツチームが行うHP改修、県民向け映像制作等に係る経費を助成する。	3,000,000	プロスポーツチーム3チームが行う新型コロナウイルス感染症予防の周知及びWEB等によるPRや地域活性化に資する活動について補助	HPや動画配信等を通じて、県民がコロナ禍で見るスポーツを楽しむ機会の創出に寄与した。
2	オンライン移住推進事業(「#おうちで移住とやま」キャンペーンの実施)	感染拡大に伴い移動や行動が制限されるなか、(1)自宅からでも気軽に参加できるWEBを活用した移住セミナー等の実施、(2)SNSによるとやま暮らしの魅力の情報発信の強化により、新型コロナ収束後の本県への移住・Uターン等の促進につなげる。	2,919,481	(1)自宅からでも気軽に参加できるWEBを活用した移住セミナー等の実施(計6回)、(2)移住検討者向けWEB動画・WEB記事の作成・公開 (3)オーダーメイド型オンライン現地案内のサービス開始	新型コロナウイルス感染症の影響から移住相談窓口での相談件数は、前年に比べて減少したが、オンラインを活用して効果的に情報発信できたことから、県・市町村の相談窓口を通じた移住者数は、過去最高の764名となった。
3	富山県立大学遠隔授業スタートアップ事業	感染症の拡大防止の目的から、学生が自宅にいながらインターネットを介して受講することができる「遠隔授業」を実施するとともに、必要なシステムや機器の購入、学生に対する通信機器の貸与に係る費用等を手当てする。	15,967,730	学生の学びの機会を保障するため、富山県立大学における遠隔授業の実施に係る経費を補助	富山県立大学におけるオンライン又はオンデマンド等による遠隔授業の実施を支援し、コロナ禍における学生の学びの保証に寄与した。
4	BCPテレワーク緊急対策事業	県内企業の速やかなテレワーク導入を図るため、緊急テレワークセミナーの開催や導入しようとする企業に対する支援を実施する。	1,820,002	テレワーク緊急対策セミナー2回、デジタル化による働き方改革推進セミナー2回をオンラインで実施 参加者数延べ220名	コロナ禍初期から実施した緊急対策セミナーにより、県内企業のデジタル化に必要な情報を迅速に届けることができた。また、働き方改革推進セミナーでは、コロナ禍の状況を踏まえた自社のデジタル化戦略について考える機会を提供することができた。
5	タクシー新型コロナウイルス対策緊急支援事業	(1)飛沫感染防止間仕切り設置事業 飛沫感染防止間仕切りを設置することにより、タクシー乗客及び乗務員の安全安心を確保する。 (2)夜間対応支援事業 地域の公共交通を維持するため、市町村が実施する中山間地域を有する町村及び旧町村を拠点とするタクシー事業者の夜間対応への支援に対して補助を行う。 (3)個人タクシーへのオゾン発生器の購入費用補助事業 空気除菌のためのオゾン発生器を設置することにより、タクシー乗客及び乗務員の安全安心を確保する。	5,189,000	(1)(3) タクシー事業者の衛生対策や感染防止対策のための機器導入等を支援 タクシー事業者 17社 (2) 夜間対応を行ったタクシー事業者を支援 タクシー事業者 8社	タクシーにおける新型コロナウイルスの感染拡大防止及び経営維持に寄与した。
6	観光地の魅力ブラッシュアップ促進事業	反転攻勢期に向けて、インバウンド対応セミナーの開催や、県産品の商品開発・改良支援等を実施する。	25,562,070	・観光事業者等を対象としたインバウンド対応セミナーの開催並びに専門家による個別巡回訪問及びコンサルティングを実施(セミナー:2日間×3回、コンサルティング:計20事業者) ・県内・都内の富山県アンテナショップ登録会員を対象に、お薦めアンケートキャンペーンを実施し、アンケート結果(意見)から商品のPOPを作成し、店頭に掲示して来店者へPRした。 また、県内の県産品生産者を公募・選定し、バイヤー等専門家による伴走支援を行いながら新商品開発や既存商品の改良につなげ、県産品の磨き上げを図った。	・インバウンド対応セミナーやコンサルティングを実施したことにより、反転攻勢の基盤構築に寄与した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、大きく来店客数・売上が減少した富山・東京のアンテナショップにて、顧客数を増やし、再来店を促し、県産品の購買を増やした。(会員数1日約50人×約20日=1,000人増。) 県産品生産者8事業者が県産品の磨き上げを行った。(新商品開発2、事業者間コラボ企画1、新規取引先5、売上増1の成果)
7	富山県の魅力再発見等事業	感染症の拡大の収束後に、県内事業者が県民向けに実施する割引キャンペーン等への補助を行う。	211,791,000	・県内の着地型旅行商品を県民を対象に割引価格で販売 割引期間:令和2年7月～令和3年2月 利用人数 :12,067人 割引補填額:25,930,650円 ・立山黒部アルペンルートが県民を対象に実施する割引キャンペーンに係る経費を支援 割引期間:令和2年6月19日～令和2年10月31日 利用人数:12,114人 割引補填額:41,240,000円 ・富岩水上ラインの乗船料を県民を対象に割引キャンペーンの実施とPR 割引期間:令和2年7月～令和2年11月 利用人数 :10,826人 ・インターネットを活用した地場産品の割引・送料無料販売への補助 割引期間:令和2年7月15日～令和3年2月28日 売上総額(税込):111,949千円 販売数量:28,070個	・県内観光産業の下支えや県民の県内観光に対する需要喚起に寄与し、魅力の再発見に繋がった。 ・県民を対象としたキャンペーンの実施により立山黒部の観光需要を喚起し、本県の代表的な観光地の魅力再発見に寄与した。 ・富岩水上ラインを中心とした富岩運河や富山駅周辺地域の賑わい創出と県民の県内観光に対する需要喚起に寄与した。 ・県内の優れた産品の販売促進及び知名度向上に加え、商品発送時の観光情報の提供により、本県の魅力の再発見及びコロナ後の観光需要喚起に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
8	反転攻勢期誘客促進準備事業	反転攻勢期の誘客促進のため、旅行会社の広告掲載や商品販売を支援する。	9,412,000	・県内に宿泊する団体ツアーの広告に対し助成を実施 補助件数: 8件 補助総額: 1,512千円 ・富山県観光MAP外国語版の改定(英語、繁体字、簡体字)及び新規作成(タイ語)を実施 委託額: 2,900千円 ・駅でのデジタルサイネージと車内での中吊り広告で北陸の情報発信を実施。また、旅行会社に季節感のある販促のほりを提供 負担金額: 5,000千円	・アフターコロナを見据えた県内の周遊促進や観光需要の回復につながった。 ・コロナ後の外国からの誘客促進に向けた本県の認知度向上に寄与した。 ・ウィズコロナを意識しながら即効性のある取組みを実施し、観光需要喚起に寄与した。
9	感染拡大防止周知啓発事業	「新型コロナウイルスに関する情報」を、包括的に多くの県民の目や耳に触れるテレビ・ラジオ・新聞・ポスターの掲示などを通じて、より分かりやすく効果的に発信する。	51,877,948	・テレビ放送: 3件(3局) ・ラジオ放送: 1件(3団体) ・県広報とやま臨時号発行: 1回 ・新聞広告掲載: 4件(3紙) ・自治会及び市町村へポスター配布: 10,000枚	多くの県民へ新型コロナウイルスに関する情報をテレビ、ラジオ、広報紙、新聞広告といった様々な媒体で広く発信できた。
10	県有施設修繕事業	公共施設等における感染症防止対策(トイレ自動水栓化、換気設備、スクリーンボード設置等)を実施する。	353,872,718	県有施設70施設のトイレ・手洗い自動水栓化、網戸・換気扇設置、アクリル板設置等を実施	職員及び来館者が安心・安全に利用できる環境の整備に寄与するとともに、感染拡大防止につながった。
11	新型コロナウイルス対策業務継続体制維持事業	業務継続体制維持による職員の感染防止のため、マスクの購入及び各所属への配布を行う。	836,352	窓口業務対応用等として不織布マスクを159所属に配布	新型コロナウイルス感染防止対策の整備により、感染拡大防止及び窓口業務等の体制維持に寄与した。
12	TV会議システムの導入事業	市町村との連携強化、情報共有を図る手段として、TV会議システムを導入することで、意思決定を迅速化するほか、移動に伴う感染リスクを防ぐ。	4,550,000	県庁及び15市町村にテレビ会議システムを導入	・新型コロナウイルス感染症対策として、テレビ会議システムを導入することにより、県と市町村との情報共有、連携を強化した。 ・拠点間でテレビ会議を実施することができるようになったため、移動に伴う新型コロナウイルス感染のリスクが減少した。
13	県職員のテレワーク環境の整備事業	県職員が在宅勤務を実施するためのテレワーク環境を拡充することで、通勤に伴う感染リスクを低減するほか、業務の遅滞を防ぐ。	52,639,000	県職員が利用可能なテレワーク対応PCを20台から200台へ拡充し、柔軟な勤務体制の構築に向けた環境作りを実施	テレワーク制度の利用者が増え、職場内の感染リスク低減・業務効率化・働き方改革の推進に貢献した。
14	eスポーツ富山スペシャルマッチ事業	大型連休中、県内プロスポーツチーム等の選手が参加するeスポーツイベントをライブ配信し、在宅でも楽しめるeスポーツの普及と県内スポーツの振興を図る。	3,000,000	・2020年5月2日(土)、5日(火)、9日(土)に富山グラウジーズ、カタール富山等の選手が参加するeスポーツイベントをオンラインで開催(YouTubeにて実況生配信し、後日収録動画を掲載)	新型コロナウイルス感染予防のため外出自粛が求められる中、在宅でも楽しめるeスポーツの魅力を効果的に発信できた。また、県内プロスポーツチームへの活動機会提供等により県内スポーツの振興に寄与した。
15	内定取り消し者等の職員採用	新型コロナウイルス感染症への対応に職員が専念できる環境を整備するため、雇止めや解雇など雇用に影響を受けた者の臨時雇用を実施する。	43,101,057	雇止めや解雇など雇用に影響を受けた者を、会計年度任用職員として雇用し、コロナ協力金の支給業務や軽症者等宿泊施設の運営、応援職員を派遣している所属の事務補助等に従事 ・雇用人数 18名	コロナ協力金の支給業務や、感染者療養宿泊施設の運営、応援職員を派遣している所属の円滑な事業実施、コロナの影響を受け離職した者の雇用の確保に寄与した。
16	新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充等事業	県のコロナ対策本部の設置や軽症者等宿泊施設、厚生センター等における感染症対応のための体制の拡充・整備等を本県の実情に応じて柔軟かつ機動的に実施する。	460,797,989	新型コロナウイルス感染症対応のため、以下の設置や応援人員の配置等を実施した。 ・コロナ対策本部の設置 ・軽症者等宿泊施設の設置 ・相談窓口の設置 ・県内の各厚生センター等への人員追加	新型コロナウイルス感染症対応のための体制の拡充・整備について、本県の実情に応じた柔軟かつ機動的な実施に寄与した。
17	新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充等にかかる病院事業会計繰出補助	県立中央病院における新型コロナウイルス感染症対応のための体制の拡充・整備等を本県の実情に応じて柔軟かつ機動的に実施する。	112,213,000	県立中央病院における新型コロナウイルス感染症の対応に係る特殊勤務手当及び時間外勤務手当に対し、補助を実施	基幹病院である県立中央病院において、人員体制を強化し、十分な医療提供体制を確保した。
18	県民向けマスク購入あっせん事業	県民が安心してマスクを購入できるよう、県でマスクを確保し、マスク2箱(50枚/箱)まで購入可能な購入券を全世帯に配布する。	32,897,289	県内全世帯分のマスクを確保及びマスク購入券を配布	県内ではマスク購入が困難な状況にあったが、県民が安心してマスクを購入できる環境を提供できた。また、不当に高い価格での購入防止、市場におけるマスクの販売価格の引き下げに寄与した。
19	ナチュラリスト活動支援事業	ナチュラリストが行う自然解説業務において、無線通信機材を導入し、観光客と適切な距離を確保することにより濃厚接触の防止を図る。	1,800,000	新型コロナウイルス感染防止のため、新たにイヤホンガイドを導入	イヤホンガイド導入により、密を避けて自然解説活動を実施することが可能となり、新型コロナウイルス感染防止に寄与した。
20	新型コロナウイルスに立ち向かう医療従事者応援事業	医療の最前線で奮闘する看護師をはじめとする医療従事者に対して感謝の気持ちを表するとともに、医療従事者とその家族に差別や偏見が向けられないよう県民への理解と協力を呼び掛ける広報を実施する。	2,400,000	医療の最前線で奮闘する医療従事者に感謝の気持ちを表すとともに、県民への理解と協力を呼び掛ける広告を県内新聞3紙へ掲載	新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者へ感謝と応援を伝え、県民への理解、協力の啓発に寄与することができた。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金活用額(円)	実施状況	事業の効果
21	子育て支援推進事業(家庭支援事業)	小学校の臨時休業に伴う「とやまっ子さんさん広場」開設(地域住民やボランティア団体等が自主的に取り組む子どもの居場所づくり活動)等への支援を行う。	2,351,000	対象施設への補助を行う7市町村に対して必要経費を補助	とやまっ子さんさん広場への支援により、コロナ禍における児童の居場所を確保できた。
22	ひとり親家庭応援事業	感染拡大に伴い経済的負担の影響を大きく受けるひとり親家庭(児童扶養手当受給者)に対してお米券の支給を行う。	24,914,900	・14市町村に対し補助 ・支給対象者数:3,000人	ひとり親家庭の経済的負担(学校の休校等による食費負担の増)の軽減に寄与した。
23	総合衛生学院遠隔授業実施整備事業	新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、総合衛生学院において休校や対面授業を行えない場合に、遠隔授業を実施できるよう必要な整備を行う。	419,374	<機器整備> パソコンのOS更新3台、WEBカメラ1台、LANケーブル、LAN配線工事、WiFiレンタル9か月(4台)	総合衛生学院において休校や対面授業を行えない場合に、遠隔授業を実施できるよう必要な環境が整った。
24	新型コロナウイルス検査データ整理等事業	新型コロナウイルス感染症の検査データの整理(台帳管理)等を行う会計年度任用職員を雇用する。	1,743,018	衛生研究所に会計年度任用職員1名を雇用し、新型コロナウイルス感染症の検査データ整理等の業務に従事	衛生研究所における新型コロナウイルス感染症への十分な検査・研究体制を確保した。
25	厚生センター事業	厚生センターの体制強化のため、濃厚接触者の健康観察等に従事する保健師等を配置するとともに、事務職員を増員する。また、同センターの環境充実を図るため、検体搬送車両の配備を行う。	27,144,000	・厚生センターの体制強化のため、保健師等を12名配置 ・検体搬送車両を7台配備	厚生センターにおける新型コロナウイルス感染症への体制強化を図ることができ、職員の負担軽減に寄与した。また、検体搬送車両の配備により、迅速に検査をすることができた。
26	新型コロナウイルス感染症への院内環境・体制整備事業	県立中央病院の新型コロナウイルス感染症の院内感染防止のため、院内環境・体制を整備する。	10,525,521	県立中央病院における新型コロナウイルス感染症対応に係る院内環境・体制の整備に対し、補助を実施 ・患者受付業務の増員 ・発熱患者用の仮設待合室設置 ・病棟の空調設備改修	基幹病院である県立中央病院において、院内感染を防止し、十分な業務継続体制を確保した。
27	とやま飲食店「事業転換」支援補助金	感染拡大の影響を受けている中小・小規模を中心とした県内飲食店の事業継続支援のため、飲食店が実施する持ち帰り・配達に関する情報を取りまとめたホームページの作成・運営等に関する経費を助成する。	7,424,000	富山県内の飲食店が実施する持ち帰り・配達に関する情報を取りまとめた4件のホームページの作成・運営等を支援、延べ1,599件(実績報告時)の情報を掲載	サイト閲覧からの注文等により、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等で厳しい経営状況にあった飲食店等の支援になったほか、県民の食生活の質の向上にもつながった。
28	医療用個人防護具等供給体制強化支援事業	県内企業が医療現場で使用できるガウン等の生産設備を導入する際の経費の一部を支援する。	2,525,000	医療用個人防護具を新たに生産又は増産する県内の中小企業者・小規模事業者に対して、生産設備導入経費を補助 ・補助実績:3件	全国的に医療用個人防護具が不足する中、県内における生産拡大に寄与した。
29	「食事提供施設」新型コロナウイルス感染防止緊急対策事業費助成金	食事提供施設が感染防止対策として取り組む、感染予防対策設備(飛沫感染防止アクリル板、ビニールカーテン等)の設置を支援する。	112,958,000	食事提供施設が感染防止対策として取り組む感染予防対策設備等の設置に対し補助 ・補助実績:1,120件	県内の食事提供施設において、アクリル板等の感染予防対策設備の導入を促進し、感染拡大防止に寄与した。
30	雇用維持・継続のための人事交流・人材派遣支援事業	感染拡大の影響により雇用の維持が厳しい業種と人手不足の業種間の人材融通の取組みを支援する。	3,896,768	・富山県人材活躍推進センターにおいて、人材に係る情報の収集・提供、人材融通の調整(人事交流実績:マッチング成立6件、27名(出向5名、副業・兼業22名)) ・人材活躍推進センター内に社会保険労務士を1名配置し、一時的な人事交流等の各種相談に対応(社労士相談件数 累計116件) ・人事交流が成立した案件について、受入企業等へ奨励金を支給(奨励金実績6件)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による雇用の維持が厳しい業種と人手不足の業種間の人材融通に寄与した。
31	オンライン求職支援事業	感染拡大に伴う外出自粛により影響を受けている求職者等の支援のため、WEB合同企業説明会等の開催やWEB相談体制の整備を実施する。	7,121,558	・WEBを活用した合同企業説明会等を4回開催 ・WEB機材整備	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面型の合同企業説明会等の開催が中止されている中、情報不足に不安を抱える学生と自社をアピールする場を逃した企業をつなぐ機会を創出した。
32	経営相談体制強化事業	感染症拡大の影響を受けた中小企業向けに、経営相談や助成金申請支援の体制を強化する。	17,576,407	電話での相談窓口を設置し、相談員を1名増員 年間相談件数:518件	新型コロナウイルスの感染症の影響拡大に伴う経営相談増加に対応するため、平日夕方や休日にも対応可能とし、相談体制の充実に寄与した。
33	富山県・市町村新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業	感染症拡大防止のため、県の休業要請等に応じて、要請期間中、全面的に協力いただける中小企業・個人事業主に対し、県内市町村と連携し、協力金を支給する。	664,797,231	支給件数 4,858件	新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、多くの県内事業者が休業・時短要請にご協力いただけたことにより、爆発的な感染拡大防止に寄与した。
34	富山県事業持続化・地域再生支援金	感染症拡大により甚大な影響を受けている中であっても、事業の見直しを進め、経営を持続可能なものとするとともに、新たな発展につなげようとする意欲的な県内の中小企業、個人事業主等を支援する。	3,485,671,522	支給件数:23,949件	新型コロナウイルス感染症収束後において求められる新しい生活様式や行動変容に対応しながら、これまでの事業の在り方について必要な見直しを進め、経営を持続可能なものとするともに新たな発展につなげようとする意欲ある事業者の事業継続に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金活用額(円)	実施状況	事業の効果
35	「富富富」で富山県出身者応援事業	帰省の自粛を余儀なくされている県外在住の県出身の大学生等を応援するため、県産米新品種「富富富」を送付する。	16,021,000	県外在住の県出身学生等、約16,000人へ案内申込みのあった5,508人へ富富富(2kg)と富山県の特産品を送付	帰省を自粛する県出身者のストレス対策および帰省の自粛による人流抑制に貢献した。また、対象となる大学生本人等によるSNSアカウントから本取組みが発信されるとともに、マスメディア等で記事が掲載され、富富富のPRに効果があった。
36	農業用ドローン普及・導入緊急事業	感染拡大の影響により労働力不足が生じている農業経営体を対象に、作業省力化のための自動飛行農業用ドローンの導入を支援する。	7,295,000	臨時雇用者や外国人労働者の労働力不足が生じている4経営体を対象として、自動飛行農業用ドローンの導入を支援	省力化効果の高い、スマート農業機器を導入することにより、少ない労働力での経営継続に寄与した。
37	「富富富」で県外出身学生応援事業	不要不急の外出の自粛を余儀なくされている県内在住の県外出身の大学生等を応援するため、県産米新品種「富富富」を送付する。	14,813,040	県内大学生等8,080人へ富富富(2kg)と富山県の特産品を送付	外出の抑制に貢献するとともに、外出自粛を行う学生への生活支援となった。また、対象となる大学生本人等によるSNS発信や、マスメディア等で記事が掲載され、富富富のPR効果もあった。
38	建設産業分野における生産性向上へ取り組む事業者への支援事業	建設企業と県監督職員が遠隔でリアルタイムに情報共有できる体制を整備するため、WEB会議システムの導入(建設企業のWEB会議システムの導入支援)を行う。	8,359,931	・建設企業計10社に対し、WEB会議システムの導入に係る経費を補助 ・県側の環境整備として、ウェアラブルカメラ21式、タブレット27台を購入	建設企業と県が遠隔でリアルタイムに情報共有できる体制が整い、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させながら、建設企業の実業性の向上を図ることができた。
39	新型コロナウイルス感染予防対策事業【警察における感染予防対策の強化事業】	警察職員の感染防止対策を強化するため、防護服等を整備する。	18,826,631	不織布マスク、フェイスシールド、手指消毒液、消毒作業用手袋、除菌用アルコールタオル等の新型コロナウイルス感染防止対策用資機材を購入	警察職員の感染防止対策が強化され、警察業務の継続性が確保された。
40	新型コロナウイルス感染予防対策事業【治安確保のための業務継続能力維持事業】	集団感染防止と警察活動業務の継続のため、警察本部及び各警察署等にテレビ会議システムを導入する。	12,815,000	テレビ会議システム20台分を整備	リモートによる会議等が実施可能になり、感染防止対策が強化され、集団感染のリスクが軽減され、警察業務の継続性が確保された。
41	TOYAMA Drive in Theater with テイクアウトマルシェ	県民の「自粛ストレス」や「コロナ疲れ」の緩和と、飲食店事業者の販路拡大、売り上げ向上支援を目的とした「新しい生活様式」に沿った取組みとして、「TOYAMA Drive in Theater with テイクアウトマルシェ」を官民一体となって開催する。	2,500,000	ドライブインシアターとドライブスルー方式の飲食販売を併設するイベントの支援(R2.5.28～5.30の4日間で約3,000食を販売)	外出自粛要請により県民が感じるコロナ疲れを発散させる場を提供できたことに加え、地元飲食店の販売促進や販路開拓に寄与した。
42	庁内LANネットワーク強靱化対策費	アフターコロナ時代を見据え、庁内LANネットワークを再構築するための設計を実施する。	62,288,000	庁内LAN仮想化基盤の再構築のための設計を実施	コロナ禍におけるテレワークの実施など庁内LAN更新後のビジョン検討と全庁的共有等を実施し、令和3年度に庁内LANの再構築を実施することができた。
43	光ファイバー網整備推進事業費補助金	アフターコロナ時代を見据え、5G基地局や教育ICT環境整備の基盤となる光ファイバー網の整備を進めるため、ケーブルテレビ網の光ファイバー化が進んでいない市町、一部事務組合に対し支援を行う。	1,417,084,000	未整備であった1市3事務組合のケーブルテレビ網の光ファイバーを整備し、県内全域の光ファイバー化を実現	・コロナ禍における迅速かつ確実な情報伝達手段を確保し、地域の安心・安全に寄与した。 ・テレワーク、遠隔教育、遠隔医療等のデジタル技術活用を進める上で不可欠となる基盤が整備された。
44	新しい生活様式実践等支援情報発信事業	新型コロナ感染防止に向けた「新しい生活様式」の浸透のため、また、今後の感染拡大に備え、県で実施する施策を、包括的かつ効果的にTV・ラジオ・HP・新聞・WEB等で情報発信する。	171,000,000	・テレビ放送:14件(3局) ・ラジオ放送:2件(3団体) ・県広報とやま臨時号発行:1回 ・新聞広告掲載:22件(3紙) ・ケーブルテレビでの情報発信:6件 ・HPサイトの制作:1件 ・催事開催等に伴う情報発信:8件 ・地域情報誌掲載:4件 ・注意喚起ナレーション制作:1件 ・シティスケープ掲出:1件 ・県内スポットの感染警戒ライトアップ:2箇所 ・情報発信用資材購入	多くの県民へ新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた「新しい生活様式」に関する情報をテレビ、ラジオ、広報紙、新聞広告、HPなど様々な媒体で広く発信できた。
45	アフターコロナの首都圏等向けイメージアップ戦略推進事業	JR山手線や東横線内等において富山県の雄大な自然風景の映像等を放映し、本県のイメージアップを図る。	15,972,000	・電車内デジタルサイネージでのCM放映 JR東日本(山手線ほか8路線) 東急電鉄(東横線ほか3路線) JR西日本(京都線ほか18路線) ・首都圏NewdaysビジョンでのCM放映 157駅 352画面 ・期間:R2.7.13～7.26	首都圏及び関西圏における、コロナ収束後に向けた富山県のイメージアップを図ることができた。
46	県政世論調査費	従来、調査員の訪問により行ってきた県政世論調査について、感染防止の観点から、郵送調査に変更する。	920,000	・新型コロナウイルス感染症対策として、従来の留置調査から郵送調査に切替え ・コロナに打ち克つメッセージを記載した啓発物品の同梱	有効回答率 2,155人(53.9%) メッセージを同梱することで、新型コロナウイルス感染症への意識啓発を行うことができた。
47	新型コロナウイルス感染症予防対策事業【運転免許センター業務再開に伴う対応】	運転免許センターの3密対策に必要な整備等を行う。	18,403,500	運転免許センターの3密対策として、 ・入場制限用受付券券機4台 ・増設する講習会場用の視聴覚機材 ・免許写真撮影装置1台 などを導入した。	人との接触機会を極力減らすことで、運転免許センターに来訪する県民と警察職員の感染防止対策が強化された。
48	伏木富山港コロナ感染防止対策事業	伏木富山港において、クルーズ船寄港時にサーモグラフィを設置することで、感染拡大防止に資するとともに、安全安心をアピールしクルーズ船誘致につなげる。	538,900	クルーズ船寄港時に、乗客や関係者スタッフに対して使用するサーモグラフィを1台購入	複数の乗客や関係者スタッフの体温を同時に非接触で測定でき、クルーズの運航をより安全安心に実施出来たとともに、感染防止対策にもつながった。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
49	新型コロナ対応舞台芸術開催事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、県内芸術文化団体の発表の場が減少していることから、発表機会の創出や映像配信を行う。	9,800,000	R2.10.17～10.18開催 出演者約300名、入場者約900名 (観客収容率50%) 映像配信 ・ケーブルテレビ放送(県内11局) R2.11月～R3.1月 ・YouTube配信	感染防止対策を徹底したうえで舞台公演を実施し、芸術家・団体が活動成果を発表し、県民が芸術文化に触れる機会を提供することができた。
50	「新しい生活様式」に対応した舞台芸術活動支援事業	感染症対策を実施したうえで舞台公演を行う芸術文化団体に対し、公演及び練習に要した施設使用料を補助することにより、芸術文化活動の継続を支援する。	2,552,000	新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、広く県民の鑑賞を目的とする舞台芸術公演を開催する取り組みに対して、会場使用料、練習室利用料、設備使用料を補助 ・補助件数 18件	新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動の縮小や公演の中止を余儀なくされている芸術文化団体等の舞台芸術活動の再開、継続の支援に寄与した。
51	富山県芸術文化活動再開モデル応援事業	芸術文化団体・個人の活動再開・継続のため、WEB配信によるリモート教室の実施などを支援する。	5,000,000	技術支援スタッフのサポートのもと、インターネットを活用した動画配信、リモートレッスンなどを15団体が実施	新型コロナウイルス感染症により、対面での指導やイベントが困難な状況であるなか、各団体がデジタル技術を活用してレッスン等を実施する環境づくりをサポートし、県民が文化に触れ、学ぶ機会の確保に寄与することができた。
52	新たなエコライフを目指す環境先端県とやま発信事業	国に先んじた本県の「環境先端県」としての取り組みに関する動画を県内外に発信するとともに、今後のコロナ感染対策の際に家庭や事業所で実践可能な環境保全に配慮した取り組み事例やアイデアを募るコンテストを実施する。	3,800,338	①環境先端県PR動画制作 レジ袋無料配布廃止や、食品ロスの削減など富山県が実施する環境保全に係る取り組みを紹介する動画を作成した。 ②Withコロナ期エコライフ実践啓発動画作成 使い捨てマスクなどの正しい捨て方や、環境に配慮した消費行動などを呼びかける動画を作成した。 ③ニューエコライフ実践アイデアコンテストの実施 Withコロナ期に求められる新しい生活様式に合った、家庭やオフィスで実践可能な環境保全に配慮した取り組み事例やアイデアを募集した。	①富山県の環境に関する取り組みを「とやま環境フェア2020」のウェブ会場などで周知し、県民の環境保全活動の推進に寄与した。 ②新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しながらの新たなエコライフの推進に寄与した。 ③95団体・個人からの応募があり、「とやま環境フェア2020」ウェブ会場閲覧者に作品を見て投票してもらうことで、新たなエコライフへの関心に繋がった。
53	加工業務用野菜安定出荷支援事業	新型コロナの影響で需要が落ち込んだ加工業務用野菜の冷蔵保管や販売促進活動等に係る経費に対して支援を行い、安定出荷と生産者の経営安定を図る。	4,848,881	需要が落ち込んだ加工・業務用野菜について冷蔵庫を活用して品質を保持し、販売期間の延長・計画出荷を支援した。 新たな取引拡大のための販売促進活動を支援した。	加工・業務用に栽培した野菜919tを冷蔵保管することで、出荷期間の延長が可能となり廃棄を回避できた。サンプル提供および販売形態を従来のものから変更するなど実需の要望に応えることで、963tの販路開拓につながった。
54	公共建築物等木材利用推進事業	新型コロナの感染拡大により、木材需要の多くを占める個人住宅の着工減少など、木材需要の落ち込みが想定されることから、需要が確実な公共建築物等の木造化・木質化のプロモーションのためのソフト支援を実施し、普及展示効果の高い公共建築物等での木材利用による県産材の需要喚起を図る。	3,000,000	①プロモーションの実施(4件) ②理解増進のための木造設計基礎セミナーの実施(3回)	プロモーションを実施した4件のうち3件で、県産材を使用した木造化が実施され、コロナ禍での県産材の需要喚起につなげることができた。
55	富山空港コロナ感染防止対策事業	交通結節点である空港においてサーモグラフィーによる検温を実施することで、感染拡大防止に資するとともに、安全安心をアピールし連休中の航空便の復便及び利用促進につなげる。	1,274,849	富山空港にサーモグラフィーを3台設置	空港内でのスムーズな検温の実施により、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与した。
56	着地型旅行商品造成支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、旅行が控えられている期間を活用し、県内旅行会社を実施主体として、本県の魅力再発見につなげる新たな着地型旅行商品を造成することにより、県内周遊や観光消費拡大を促す。	3,371,000	中小企業者等への補助:12件	着地型旅行商品27コースを新たに造成し、着地型旅行商品18件268人分を販売したことにより、県内観光業界全体における新たな価値創出に寄与した。
57	富山県ゴー・トゥ&ウエルカム・ホーム促進事業	国の「Go To Travelキャンペーン」にあわせて、「富山県ゴー・トゥ&ウエルカム・ホーム促進事業」を展開し、本県への誘客を促進する。	320,156,870	県内宿泊施設に宿泊された方を対象に富山県ならではの特産品等を漏れなくプレゼントした。 9～11月応募者数:23,615名	コロナ禍で厳しい状況が続く宿泊事業者・物産事業者を支援するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ観光需要の回復に寄与した。
58	MICE誘致推進事業	県内で予定されていたコンベンションで延期・中止したものに対し、挨拶状や訪問、本県への招待等を行う。	3,779,937	①挨拶状・ノベルティ送付(995通) 1,626,252円 ②訪問による誘致活動(14回) 2,153,685円	学会キーパーソン等への集中的な働きかけにより、県内開催に関する問い合わせが増加し、県内へのコンベンション誘致の促進につながった。
59	立山黒部観光PR・キャンペーン支援事業	本県の代表的な観光地である立山黒部アルペンルートと黒部峡谷鉄道トロッコ電車の運行事業者が、新型コロナウイルス感染症の収束後に行う反転攻勢に向けたPR・観光キャンペーンに対して支援する。	21,900,000	感染症対策徹底並びに立山黒部における観光需要回復を図る誘客PR及びキャンペーン等に係る経費を支援 ・立山黒部アルペンルート:11,500千円 ・黒部峡谷鉄道トロッコ電車:10,400千円	・事業者が感染症対策を遂行し、旅客の感染を防止するとともに、立山黒部が「安心・安全」な観光地として不安なく観光を楽しめる状況を醸成した。 ・PRやキャンペーンを実施し、アフターコロナを見据えた誘客促進に寄与した。
60	観光交通感染防止運行協力支援事業	本県の代表的な観光地である立山黒部アルペンルートと黒部峡谷鉄道トロッコ電車の運行事業者が、新型コロナウイルス感染症拡大防止(3密回避)のための運行に協力する場合に支援を行う。	35,855,000	感染拡大防止のための運行に係る経費を支援 ・立山黒部アルペンルート:18,926千円 ・黒部峡谷鉄道トロッコ電車:16,929千円	立山黒部アルペンルートと黒部峡谷鉄道トロッコ電車の運行継続が図られるとともに、感染拡大防止対策により安全・安心な観光地の実現に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
61	オンライン観光モデル事業	富山県に関心のある県外在住者が、県内観光地や特産物等の魅力を自宅で体験できるオンライン観光イベントを開催する。	6,785,000	オンライン観光イベントを5回開催。各回、異なるテーマを取り上げ、その分野の「案内人」とイベント参加者が、交流を深める。 ・実施時期: R2.10~R3.3 ・参加者数(延べ)86名	コロナ禍で現地の旅行が難しい状況であっても、オンラインを活用することで、本県の関心を高めることができ、本県の認知度向上や、新たな旅行スタイルの検討に寄与した。
62	多言語案内デジタルツール製作事業	新型コロナウイルス感染症収束後の県内観光の満足度向上を図るため、QRコード等を活用した多言語による新たな観光案内ツールを製作する。	5,905,350	多言語で観光スポットを紹介するウェブサイト誘引するカードを作成し、駅、空港等にカードラックを設置(カード種類:46種類、計23万枚)	カードのQRコードからウェブサイトへのアクセス数が8,200を超える等、コロナ後の誘客促進に向けた本県の認知度向上に寄与した。
63	「地元で泊まろう! 県民割引キャンペーン」事業	段階的な県内観光需要の回復を図り、県民の皆様に県内観光地の魅力を再発見してもらうため、県内宿泊施設の県民割引キャンペーンを実施する。	289,233,000	県内宿泊施設の県民割引キャンペーンを実施 ・割引期間 : (第1期~第9期) 令和3年6月18日~9月30日 ・割引補填額: 236,010千円	段階的な県内観光需要の回復を図り、県民による県内の魅力の再発見に繋がった。
64	公共交通感染防止運行協力支援事業	新型コロナウイルス感染症が拡大する中で運行を維持する公共交通事業者(鉄軌道、路線バス)等に対して運行経費を支援する。	452,563,000	新型コロナウイルス感染症が拡大する中で運行を維持する公共交通事業者に対して運行経費の一部を支援 鉄軌道事業者 2社 バス事業者(NPO含む) 12社	鉄軌道や路線バスの運行本数を維持することで密回避を図り、感染拡大防止に寄与した。
65	地域公共交通における感染拡大防止対策支援事業	地域公共交通事業者による駅等の衛生対策や感染防止対策のための車両備品整備等を支援する。	100,499,000	地域公共交通事業者による駅等の衛生対策や感染防止対策のための車両備品整備等を支援 鉄軌道事業者 4社 バス事業者 16社	公共交通における新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与した。
66	衛生事業者等感染防止対策支援事業	衛生関係事業者(理美容業者、柔道整復等施術所開設者、葬祭業者等)が感染防止対策として取り組む設備の整備等に要する経費を支援する。	70,752,891	1,219件の衛生関係事業者に対し、感染防止対策として取り組む設備の整備等に要する経費を支援した。 定額 50,000円	衛生関係事業者における新型コロナウイルス感染症感染防止対策の促進に寄与した。
67	厚生センター施設環境整備事業	感染症への対応にあたり、厚生センターの環境充実を図るための整備を行う。	3,303,300	・安全キャビネット用HEPAフィルターの更新 ・検体保管用冷凍冷蔵庫の配備 ・検査室へのエアコンの整備	新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、厚生センターの環境整備を行うことで、検査体制の強化に寄与した。
68	新型コロナウイルス感染症に備えた災害救援物資整備事業	大規模な自然災害が発生した場合の避難所における新型コロナウイルス感染症対策の備えとして、マスク、手指消毒液及び非接触型体温計を備蓄物資として購入する。	6,708,576	下記のとおり感染症対策物資を備蓄 ・アルコール消毒液1,500本(県内11箇所) ・非接触型体温計450本(県内7箇所) ・マスク70,000枚(県内2箇所)	大規模な自然災害が発生した場合の避難所における新型コロナウイルス感染症対策に係る災害救援物資を整備することができた。
69	とやまっ子エールごはん緊急支援事業	新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ、ひとり親家庭など特に支援が必要な子どもがいる家庭への食事提供を実施する子育て支援団体等に対し、必要な経費を助成する。	7,580,634	補助件数: 15件	感染症対策に係るかかり増し経費や運営強化のための備品購入費を補助することで、子ども食堂などの支援団体等が実施する子育て家庭への食事提供の促進に寄与した。
70	放課後児童健全育成事業	小学校の臨時休業に伴い児童の受入れ等を行う放課後児童クラブに対して支援する。	19,332,000	対象施設への補助を行う9市町村に対して必要経費を補助	放課後児童クラブへの支援により、コロナ禍における児童の居場所を確保できた。
71	みんなで創る「とやまっ子楽しみプラン」発信事業	新しい生活様式での子育ての楽しみ方について、県民から写真や動画を投稿してもらい、ホームページ上での視聴者投票によるコンテスト方式で優秀作品を選定し、テレビCMやインターネットサイトで周知する。	8,200,000	キャンペーンサイトを制作し、新しい日常での子育てアイデアを募集、表彰した。また、InstagramやYouTubeを活用し、社会全体の機運醸成を図った。	新しい生活様式の中で行った子育てを楽しむアイデアについて情報発信することを通して、コロナ禍においても子育てを楽しむ社会全体の機運醸成に寄与した。
72	富山大学附属病院の感染症病床整備支援事業	今後懸念される新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波や新たな感染症の発生に備え、第2種感染症指定医療機関である富山大学附属病院の増床に要する費用を支援する。	30,650,000	令和3年12月に整備完了し、感染症病床として運用している。	感染症病床を2床増床したことにより、富山医療圏における新型コロナウイルス感染症患者受入れ能力向上に寄与した。
73	医療従事者特殊勤務手当支給支援事業	新型コロナウイルス感染症患者等の診療及び看護や検体採取等、感染リスクを伴う業務に従事した職員に対し、手当を支給する医療機関を支援する。	40,378,000	新型コロナウイルス感染症患者の治療等に従事する医療従事者に特殊勤務手当を支給する11病院に対し、補助を実施	コロナ禍において、県内の医療提供体制の確保に寄与することができた。
74	社会保険労務士による相談体制強化事業	感染症拡大の影響を受けた労働者・事業主に対して、労働相談や雇用調整助成金の相談体制を整備する。	8,164,586	労働相談を受け付けた5月以降、延べ972件の相談に対応	労働相談や雇用調整助成金の相談に対応することで、企業における雇用維持に寄与した。
75	技術専門学院におけるオンライン訓練の環境整備事業	感染拡大の影響による休校時対応のため、公共職業能力開発校のオンライン訓練環境を整備する。	784,825	富山県技術専門学院におけるオンライン訓練のためのインフラ整備としてLAN敷設工事を実施 ・オンライン訓練の円滑な実施のため、3月22日に外部アドバイザーによる講習会を開催(17名参加) ・令和3年度当初から準備を進め、令和3年9月1日より普通課程3科でオンライン訓練実施	・オンライン訓練に必要な環境を整備したことで富山県がまん延防止等重点措置の対象地域になった際も、訓練生への感染拡大を防止しつつ訓練を継続して行う事ができた。 ・訓練生、指導員とも利用が急速に拡大しているICT機器やソフトウェアの取り扱い方法の基本を習得することができた。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
76	富山県赤坂会館 新型コロナ対応 誘客促進事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により落ち込んだ需要を取り戻すため、宿泊割引やテレワーク等の新たな生活様式に対応した誘客促進を図る。	6,103,477	新型コロナウイルス感染防止対策を施し、宿泊者の安全安心を確保するとともに、国が実施する官民一体型の消費喚起策「GoToトラベルキャンペーン」と相乗効果が得られるよう、会館独自の割引販売を実施。またテレワーク環境を整備	感染症対策を徹底することで、安心安全に施設運営を実施することができ、利用客からの好評も得ることができた。
77	NEWコンテンツを活用した首都圏魅力発信事業	withコロナ時代に向けて、オンラインを活用したNEWコンテンツの活性化が予想されることから、本県の魅力発信について、従来の活用媒体に加えて、新たなコンテンツ等を活用して発信することで、富山に関する様々な需要を喚起する。	7,467,079	・富山県の食や観光等を自宅に居ながら体験できるオンライン交流会の実施(2回) ・首都圏向けリリース配信(10回) ・首都圏イベントの開催・出展(3回) ・テレビ番組放映(3回) ・首都圏に暮らす県人のネットワークを活用し、「富山の魅力」を首都圏で体感・体験できるスポットを新たに発掘・発信	オンラインコミュニティを活用した非対面の交流会や様々な広報媒体を通じての首都圏における魅力発信を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた都内アンテナショップへの来館促進や県産品の販売促進、本県の認知度向上、今後の来県意欲の喚起に寄与した。
78	アフターコロナ時代を見据えた経済社会構想検討会議開催事業	新型コロナウイルス感染拡大防止と地域経済の再活性化の両立を目指すとともに、来るべき「アフターコロナ時代」を見据え、専門的な知見を有する全国レベルの有識者のほか、県内各界各層の代表、県、市町村等が一体となって「新しい生活様式」に対応した本県の成長戦略を検討するため、検討会議及び未来戦略PTを開催する。	3,517,441	・アフターコロナ時代を見据えた経済社会構想検討会議の開催 2回 ・アフターコロナ時代を見据えた経済社会構想検討会議「未来戦略プロジェクトチーム」の開催 2回 ・中間とりまとめの公表	・新型コロナウイルス感染拡大防止と地域経済の再活性化の両立を目指すとともに、「アフターコロナ時代」における新しい経済社会を構想し、本県の更なる発展・飛躍に向けた戦略の検討を行い、その検討内容を中間とりまとめとして公表(令和2年12月)、本県が今後取り組むべき課題等の抽出をすることができた。 ・そして、検討内容を発展的に承継するかたちで、新たに「富山県成長戦略会議」を設置 ・令和4年2月に新型コロナウイルス感染症による厳しい経済情勢を乗り越え、新しい富山県の更なる発展に向けた「富山県成長戦略」を策定した。
79	私立学校マスク配布支援事業	感染防止対策として、私立高校等にマスクを配布する。	56,646,786	感染防止対策として、私立高校等におけるマスクの購入及び配送に要する経費を補助 ・私立高校等(全日制)56,340千円 ・県外高校(広域通信制含む)306千円	感染防止対策を徹底するための物品を整備することで、感染症リスクの低減に寄与した。
80	私立学校修学旅行等支援補助金	私立学校に通う児童生徒をもつ保護者の経済的負担の軽減のため、修学旅行等が中止された場合のキャンセル料等を支援する。	1,533,000	私立学校に通う児童生徒をもつ保護者の経済的負担の軽減のため、修学旅行等が中止された場合のキャンセル料等を支援した。 ・私立高校8校	保護者等が負担することとなる修学旅行のキャンセル料等を支援することで、経済的な負担軽減につながった。
81	日本橋とやま館「上質なとやま」NEW LIFE STYLE事業	県アンテナショップにおいて、新型コロナウイルス感染拡大による「新しい生活様式」や「外出自粛ムード」へ対応し、来館者等のV字回復・とやまブランドのイメージアップにつなげるもの。	20,164,772	館内レストランで提供する新メニューの開発やテイクアウトの試行、首都圏にいながら富山の味を楽しめるイベント等を実施した。 ・新メニュー開発:5件 ・テイクアウトメニュー開発:2件 ・イベント実施:14回	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ来館者数の増加や、首都圏にいながら富山の魅力を感じられる情報発信により、とやまブランドのイメージアップに寄与した。
82	とやまの地酒・農林水産物連携企画支援事業	消費が落ち込む日本酒の売上げ回復を図るため、県酒造組合が、県農林水産団体と業界の垣根を越えて連携し、取り組む事業に対し支援する。	2,600,000	県内日本酒メーカーの地酒と県産米や野菜・果物、シロエビ、ホタルイカ、カニの加工品などを組合せて販売する特産品ガイドを作成し、首都圏の県人会や都内のアンテナショップ等 富山所縁の皆様へ発送。(約32,000件の配布)	コロナ禍で消費が落ち込む地酒と特産品の販売促進に寄与するとともに、県産農林水産物やその加工品など県産特産品のPRIにも効果があった。
83	ポスト・コロナ対策 Web会議等モデル事業	働き方改革の推進やBCP(事業継続計画)の確保対策として、県庁内にWeb会議室の設置やWeb会議等の運営実施マニュアルの整備を行うことで、県庁内や民間企業にWeb会議をはじめとするテレワークの普及を図る。	6,907,350	現地及びオンラインでの参加を可能とするための機材一式を購入するとともに、その利用方法にかかるセミナー、マニュアル作成を実施	令和3年度の「ハイブリッド会議用配信機材」の予約数(リハーサル等を含む)は、237件であり、県庁で開催する会議のオンライン化を大きく進めることで、県民の濃厚接触の機会を減らすことに貢献した。
84	DV相談支援体制強化事業	外出自粛や休業、経済情勢の悪化等によりDV被害の増加が懸念される中、DVへの理解を促すとともに相談窓口の周知を図る。	979,000	インスタグラム、ツイッター、フェイスブックのアカウントを新たに作成し、DVの基礎知識や相談窓口情報についての投稿を実施した。また、インスタグラム及びフェイスブックにDV被害者を相談窓口へ誘導する広告を掲載した。	新型コロナウイルスの感染拡大に伴うDV被害の増加・深刻化や、感染予防に伴う被害者の孤立が懸念される中、SNSを活用したアウトリーチ型の広報によりDV被害者を相談窓口へ誘導する体制の充実を図ることができた。
85	県立高校熱中症対策事業	感染拡大による臨時休校措置に伴い、夏休み期間中に授業を受けることとなる生徒の熱中症対策のため、大型冷風扇等を導入し、教育環境を整備する。	44,233,210	全県立高校43校の644教室(展開教室・特別教室等)に、大型冷風扇(1教室2台)を設置した。	夏休み期間中に冷風扇のある環境で授業が可能となり、学校休校に伴う学習の遅れを取り戻すことができた。
86	富山県学生寮感染防止対策改修費補助事業	富山県学生寮における感染拡大予防対策への支援により寮生の生活空間の安全性を向上する。	783,750	富山県学生寮に対し、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者を他の寮生から隔離するための改修工事(壁造作等)の補助を実施した。	施設改修により新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者を他の寮生から隔離することが可能となり、寮生の生活空間の安全性の向上が図られた。
87	中農臨時バス運行支援事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉鎖することとなった学生寮の寮生の通学支援を行う。	3,993,000	バス運行事業者に対し、学生寮の寮生(110人)のための富山駅から学校への通学バス運行経費の補助を実施した。	寮閉鎖中においても寮生のための通学バス運行を支援することで、寮生活における密集状態の回避とコロナ禍における学習活動の継続が可能となった。
88	栄養士拡充配置	感染拡大による臨時休校措置に伴う県立学校における夏休み期間の学校給食実施に必要な栄養士を拡充配置する。	102,218	夏季休業期間中の学校給食実施に必要な栄養管理・衛生管理を行った。 ・配置校数:4校、配置日数:2日~7日	夏季休業期間中の学校給食実施のため、夏場の食品衛生管理に細心の注意を払いながら、安心安全で円滑な学校給食の運営、生徒の栄養管理を行うことができた。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金活用額(円)	実施状況	事業の効果
89	県立学校の感染症対策用品整備費	県立学校再開後における、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るため、必要な保健衛生用品等を整備する。	268,666,932	県立学校56校へ下記保健衛生用品等を整備 ・マスク(教員及び児童生徒用) ・卓上間仕切り ・消毒液 ・健康診断用品	感染症対策に必要な保健衛生用品等を整備することにより、教員の負担を軽減し、児童生徒が安心して学べる環境作りに寄与した。
90	全国大会等代替大会開催支援事業費	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった全国大会の代替大会「TOYAMA2020交流大会」で、優秀な成績をおさめたチームや個人への褒賞を行う。	2,590,861	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった全国高校総体の代替となる大会で、優秀な成績を収めたチームに県知事賞を授与した。	高校生のこれまでの練習と努力の成果を称え、県民に元気を届け、新型コロナウイルスに打ち克とうとする勇気や希望を提供することができた。
91	修学旅行キャンセル料支援	新型コロナウイルス感染拡大のため修学旅行等を中止した結果、キャンセル料を保護者が負担することとなった場合に支援する。	6,847,421	県立学校33校において、新型コロナウイルス感染症の影響により発生した修学旅行のキャンセル料等を補助	新型コロナウイルス感染症による不測の事態によって、保護者等が負担することとなる修学旅行のキャンセル料等を補助することで、経済的な負担軽減につながった。
92	ICT教育推進事業費	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校時における学習機会を確保するために必要な機材等の整備を行う。	81,346,509	・県立高校用ケーブルテレビ回線引込工事および利用 ・県立高校オンライン授業用ルータ整備 ・学校内LAN配線整備 ・生徒貸出用モバイルルータ整備 ・生徒貸出用パソコン買取および設定 ・校内LAN用および教員執務用パソコンメモリ増設	学校が休校となった場合においても、遠隔授業や課題配信の実施を行うなど、生徒の学びを止めることなく学習支援を行うことができた。
93	特別支援学校介助員配置事業費	特別支援学校における夏休み期間の介助員を配置する。	347,986	・配置期間:令和2年7月21日～令和2年8月31日 ・配置校数:4校 ・配置人数:6名	新型コロナウイルス感染症の影響により休校となった分の補習授業を円滑に進めることができた。
94	緊急スクールサポートスタッフ拡充配置	緊急スクール・サポート・スタッフを拡充配置する。	5,337,822	・配置期間:令和2年6月～令和3年3月 ・配置校数:220校	新型コロナウイルス感染症対策の消毒作業をスクール・サポート・スタッフに担っていたことにより、教員の負担軽減につながった。
95	学習指導員、非常勤講師等拡充配置	夏休み期間等における授業実施に必要な学習指導員、非常勤講師等を拡充配置する。	22,360,877	・配置期間:令和2年7月～令和3年3月 ・配置人数:延べ440人	新型コロナウイルス感染症の影響で休校となった分の補習授業を円滑に進めることができた。
96	地域密着プロスポーツチーム感染症対策支援事業費	新型コロナウイルス感染症の影響でプロスポーツの試合の入場者数が制限されるなか、ファン離れを防ぐとともに、各チームが取り組む感染症対策につながる事業を支援する。	9,000,000	プロスポーツチーム3チームが取り組む感染症対策や「新しい生活様式」等に係る普及啓発等について補助	プロスポーツの試合における感染拡大防止、見るスポーツを通じた地域活性化に寄与した。
97	県営スポーツ施設整備事業	新型コロナウイルス感染症の収束後において合宿・大会誘致、プロスポーツゲームの誘客促進等により地域経済の活性化を図るとともに、県民の社会生活の維持に必要な県営スポーツ施設の整備を実施する。	39,165,500	県営スポーツ施設3施設の整備の実施 ・県総合体育センター水泳用コースロープ整備 ・西部体育センター中アリーナLED化改修 ・高岡総合プール暖房設備改修	アフターコロナを見据えた合宿・大会誘致、プロスポーツゲームの誘客促進等に繋がる施設の機能向上を図ることができた。
98	とやまとつながる都市人材創出オンライン講座	本県への移住や二地域居住を検討している都市圏社会人を対象にオンライン講座(ワークショップ)を実施し、地域活性化の担い手創出や将来的な移住の拡大を図る。	2,464,000	富山とつながる関わりしるを発見するオンライン講座「とやまつながるラボ」を実施 (1)オンライン説明会 参加者数:26名 (2)オンライン合宿 受講者数:19名 (3)最終発表会 受講者数:16名	・オンライン上でメンターを通し富山の地域プレイヤーとの出会いや受講生同士のディスカッションにより、富山の地域課題と関わり方について発見することができた。 ・受講生の中には自主的に現地を訪問したり、将来的な移住を検討したりする人がおり、富山との継続的なつながりをもつ関係人口の創出を図ることができた。
99	リモートワークによる新たな移住促進事業	とやまでのリモートワークについて、ニーズや課題を把握し、リモートワーカー等の移住を促進するため、主にエンジニアなどIT人材をターゲットに、県内のテレワーク環境・暮らし体験やワーケーションを行うモニターツアーを実施するとともに、県内テレワーク施設の調査、情報発信サイトの作成を行う。	3,499,925	(1)ワーケーションツアーin立山を実施 参加者数:9名、参加企業:7社 (2)リモートワーク・ワーケーションの推進に向けたワークショップを開催 参加者数:50名、参加企業:16社 (3)県ワーケーションポータルサイト「めぐるとやま」の制作・運用	・ツアー実施やワークショップの開催により富山県で実施するワーケーションの効果やメリットについて、県内外の意見を確認することができた。 ・ワーケーションポータルサイトの制作にあたり関連施設の発掘やモデルプランの造成等による県内の情報集約とSNS等と連携した情報発信により、富山ならではのワーケーション情報を広く周知することが可能となった。
100	オンライン30歳の同窓会(TOYAMAフェス(仮称))開催事業費	地元回帰の想いを深め、Uターンのかきつけづくりとするため、本県出身者を対象とした同窓会等の交流イベントを開催するとともに、富山とつながる若者交流コミュニティを運営し、関係人口の拡大や移住・Uターンの促進を図る。	7,999,900	(1)若者オンラインコミュニティの運営 登録者数:260名(令和3年3月末時点) (2)オンライン形式の交流イベントの開催 イベント累計参加者数:307名	県外在住の富山県出身の若者を主な対象としたオンラインコミュニティを開設するとともにオンライン形式の交流イベントの開催、Facebookによる参加者同士の交流等を実施し、関係人口の創出・拡大に貢献した。
101	サテライトオフィス等施設整備費補助事業	市町村、民間事業者と連携し、県外からのサテライトオフィスの誘致を図るプロジェクトを推進する。	2,250,000	県内市町村が進出企業に対して、サテライトオフィス等の施設整備に要する経費を補助する場合において、県が当該補助に要する経費を支援 ・富山市:1件 ・上市町:1件	施設整備費を補助することで県外企業のサテライトオフィス進出に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
102	ジョブキッズのオンライン実施	小学生を対象とした職業体験について、集団感染予防のためWeb上で実施し、若者の県内定着率を高める。	2,000,000	2020年8月から2021年1月までWEB上に職業体験コンテンツを用意し、県内企業等の仕事内容について①写真や動画による紹介のほか、②作業手順等の動画を視聴し自宅での工作活動を通じた職業体験及び③Zoomを活用した双方向での職業体験等のオンラインアトラクションを実施した。	WEBコンテンツの活用によって参加方法が多様化したことにより、参加者側の予定等に合わせた柔軟な実施が可能となり、感染症拡大防止に留意しつつ、対面参加型形式で実施していた前年度までの事業と同様の効果を得られた。
103	私立高等学校等経常費助成費補助金	世帯の家計が急変した生徒の修学支援のため、授業料の減免支援を行う。	1,002,450	家計が急変した生徒の修学支援 ・私立高校生12名(対象校5校) 計2,374千円	家計が急変した私立高校生の授業料を減免し、コロナ禍における経済的負担軽減に寄与した。
104	私立高等学校キャリアアプランニング推進事業	キャリア教育アドバイザーの配置期間の延長及び勤務日数の追加により、高校生の就職支援を強化する。	329,401	キャリア教育アドバイザーの配置期間の延長及び勤務日数の追加により、高校生の就職支援を強化 週あたり勤務を4日から5日に増やし、毎勤務時間を1時間延長、延べ45日間の延長	キャリア教育アドバイザーの勤務日数等を拡充し、コロナ禍における高校生の就職支援に寄与した。
105	私立高等学校ICT教育設備整備費補助金	生徒の学びの機会を保障するため、私立高校が実施するICT教育設備整備を支援する。	44,510,000	生徒の学びの機会を保障するため、私立高校が実施するICT教育設備整備に係る経費を補助 ・私立高校8校	私立高校における一人一台端末の整備を支援し、コロナ禍における生徒の学びの保証に寄与した。
106	私立専修学校感染拡大予防対策支援補助金	私立専修学校の感染防止対策(保健衛生用品・備品の購入費、遠隔授業の体制整備)を支援する。	5,012,000	保健衛生用品・備品の購入費、遠隔事業の体制整備に必要な経費を補助 ・私立専修学校16校	私立専修学校における感染対策を支援し、感染拡大防止に寄与した。
107	富山県「成長戦略会議」の開催費用	現下の新型コロナによる厳しい経済情勢を乗り越え、新しい富山県の更なる発展に向けたビジョンや戦略を検討する「富山県成長戦略会議」を開催する。	971,232	成長戦略会議の開催 2回	・ベンチャー創業支援やDX(デジタルトランスフォーメーション)による新たな産業戦略、観光や移住促進等を見据えたブランディング戦略など、幅広い分野について突き抜けた議論を実施。社会情勢が大きく変動する中で、富山県の将来の発展に向けてスピード感を持って取り組む必要のある課題等の抽出及び検討をすることができた。 ・令和4年2月に新型コロナウイルス感染症による厳しい経済情勢を乗り越え、新しい富山県の更なる発展に向けた「富山県成長戦略」を策定した。
108	県立大学と早稲田大学の連携講座	県内企業の新規事業担当者らが、事業アイデアからビジネスモデルの設計や仮説検証思考でビジネスモデルをブラッシュアップする手法の講義(オンライン)を受講し、検討や発表、議論を通して県全体のビジネス創出にもつなげる。	900,660	富山県立大学研究協会会員企業等県内企業に有用な研修機会の提供と新規事業開発等の支援を行うとともに、優れた技術・知財を活用した起業や事業化を意識するマインドの醸成等を図るため、「ビジネス仮説検証法のOneDayトレーニング(社会人向けプログラム)」を早稲田大学に委託	当日は11名が参加し、講義、演習及び発表を通してビジネスモデルやアイデアのブラッシュアップを行った。事後アンケートでは、「研修内容は仕事に活用できるか」の項目に対し、「活用できる、やや活用できる」と回答した割合が100%と高評価であり、技術・知財を活用した起業や事業化を意識するマインドの醸成、コロナ後の強い経済活動の継続に寄与した。また、オンライン研修としたことで、コロナ禍においても受講の機会を提供することができた。
109	県立大学DX教育センター(仮称)の実施設計費	DXに対応した人材の育成に向け、情報システム、知能ロボットの定員を拡充するにあたり、教員の居室・研究室等を備えた新棟を整備するための実施設計を行う。	54,516,000	富山県立大学におけるDXに対応した人材育成等のための教育環境を整備するため、教員の居室・研究室等を備えた新棟を整備するための実施設計に要する経費を補助	DX教育研究センターを整備するために必要な実施設計を行い、アフターコロナ時代のDXに対応するデジタル人材育成のための教育環境整備に寄与した。
110	外国人材とのコミュニケーション支援事業	新型コロナウイルス感染症の終息後の新規外国人材の受入れに備え、企業内における外国人材への理解促進・多文化共生機運の醸成・日本人も外国人も働きやすい職場環境の整備を目的とした企業向け研修をオンラインにより開催する。	493,526	在留資格の基礎知識や、社内体制整備、やさしい日本語等について、全6回の研修を、オンラインにより開催した(延42人が受講)。	研修を実施することにより、日本人も外国人も働きやすい職場環境づくりを支援することができた。 また、オンライン開催とすることで、コロナ禍においても広く受講企業を募ることができた。
111	首都圏の若者・女性活躍応援モデル事業	県内企業の経営課題について、首都圏等で活躍する若者や女性もつノウハウ等を活用し、企業課題に取り組むワークショップを実施し、本県における副業・兼業を推進するとともに、本県への移住等の促進を図る。	4,987,620	・事前説明会、ワークショップの開催 7回 ・参加企業 3社 ・参加者延べ 38名	地方企業では、首都圏の大企業に所属するようなスキルを持った人材は少なく、課題解決において大切な視点やアイデアが不足しているため、今回の事業ではそういった視点を獲得きっかけになるとともに、コロナ後の強い経済活動の継続に寄与した。また、参加者は、県内企業とつながりを持つことで富山県への愛着が生まれ、関係人口の拡大としても有効であった。
112	プレジャーボート対策費	観光地の魅力向上として、内川を含む新湊地区の水域の景観美化を図るため、不法係留棧橋等の撤去を行う。	4,462,764	内川を含む新湊地区において、不法係留棧橋等の撤去を行った。	新湊地区における不法係留等が解消されたことで水域の景観が美化され、新型コロナウイルス感染症終息後を見据えた観光地としての魅力向上を図ることができた。
113	立山有料道路管理費補助事業	富山県の主要観光道路である立山有料道路の通行を確保するために必要な費用を助成することにより、コロナ終息後の富山県の観光客の受け入れ態勢を整備する。	40,765,000	立山有料道路における、コロナ禍の影響による収入の減収を補填	新型コロナウイルス感染拡大の影響により収益が減少した道路公社に対し支援することで、本県の主要観光道路である立山有料道路の安全・安心な通行の確保を担う道路公社の事業継続に寄与することができた。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
114	除雪情報システム整備事業	アフターコロナを見据えた行政のデジタル化を推進するため、県が提供している冬期道路情報ホームページを拡充する。	65,000,000	冬期道路情報ホームページについて、以下の点を拡充 ・サーバーの増強 ・冬期間限定公開から通年公開に変更 ・カメラ画像をAI解析し、車両の滞留情報を159箇所で開催	充実した道路情報を通年で周知することが可能になり、アフターコロナを見据えた県民の利便性向上や職員の事務負担軽減に寄与している。
115	警察施設の感染症防止対策事業	多くの県民が来署する警察署における新型コロナウイルス感染症防止対策として、空調設備更新を実施する。	42,999,000	警察署3署の空調設備を更新	換気能力が向上したことで、来署する県民及び警察職員の感染症防止対策が強化された。
116	警察行政事務デジタル化事業	サテライト勤務等に対応する環境を整備し、警察業務の継続性を確保するため、警察行政事務のデジタル化を推進する。	159,999,898	文書管理システムを導入、PC端末130台を整備	電子決裁機能を有する新たな文書管理システムを導入したこと等により、サテライト勤務等に対応する環境を整備し、コロナ禍における警察業務の継続性を確保するとともに、警察行政事務のデジタル化を推進することができた。
117	中山間地域におけるスマート農業推進モデル事業	中山間地域等の認定農業者等にスマート農機の導入支援を行い、人との接触機会を極力削減するウイズコロナ時代に対応する。また、スマート農業の普及を図るため、普及指導員を対象にドローン技能講習を受講させる。	4,302,000	・中山間地域を生産基盤とする2経営体に対し、スマート農機の導入を支援 ・普及指導員7名がドローン技能認定証を取得	農作業の省力化や生産性向上が期待されるスマート農機の導入、普及を促進することで、中山間地域等における効率的かつ安定的な農業経営の実現に寄与した。
118	林業担い手センター活動推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている県内零細林業事業者のニーズに沿った相談体制を強化する。	1,400,000	林業事業者への指導・助言(15事業者)	林業を実施する中で利用できる補助金や助成金を周知することで、コロナ禍における事業者の経営負担の軽減を図ることができた。
119	とやま県産材生産体制緊急整備事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、県産材生産体制への影響緩和のため、事業者が共同で実施する流通の効率化の取組みを支援し、コロナ禍における林業事業者の経営基盤の安定化を図る。	3,000,000	①素材生産業者と調整を図るための会議の開催 ②大型トレーラー等による運搬(572台) ③事業者との連携による運搬(5回)	素材生産を行う事業者が、他の搬出現場との連携を図ることにより、流通の効率化など木材運搬コストを抑え、コロナ禍における運材コストの高騰や運材効率の悪化などの影響の緩和を図ることができた。
120	「富富富」リモートPR事業	動画・SNSによる魅力発信、オンラインイベントでのPRなど、新しい形での「富富富」のPRを強化し、消費拡大を図る。	11,000,000	(PR動画の制作、上映) 食の魅力PR動画、「富富富」レシピ紹介動画、県内インフルエンサー活用動画等を制作し、YouTubeや県内イベント等で上映 (SNSキャンペーン) 「富富富」を使った料理の感想や「富富富」を食べられる店を訪れた感想をSNSで募集。投稿者の中から抽選でプレゼントを贈呈	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面でのPRイベントの開催が困難な中において、SNSキャンペーンについては、合計で352,835回の表示、広告経由で2,263回のホームページ募集ページ内への訪問を促し、287件の応募があった。事業全体を通して、「富富富」認知度向上、販売促進のPRに寄与した。
121	Go To Eat県産食材活用事業	GoToEat登録飲食店に対して県産食材の活用をPRするとともに、県産食材を使って新たにメニュー開発する飲食店を支援し、県産食材の需要喚起を図る。	16,979,357	①県産食材活用メニュー開発への助成 ②県産食材活用新メニューコンテスト ③「富山県産食材活用の店」PR ④県産食材活用状況アンケート	これらの取組みにより、コロナ禍における消費減少の影響を受ける県産食材の需要回復に一定の効果があった。
122	大規模食イベント感染防止対策モデル事業	「食の王国フェスタ」での新型コロナ対策の実践を支援することで、食のイベントの実施スタイルの確立・普及を図る。	9,280,000	「越中とやま食の王国フェスタ2020～秋の陣～」において、新型コロナウイルス対策を実施した(以下は主なもの)。 (1)有症状、海外渡航歴等による入場制限の実施 (2)来場者への消毒、検温、マスク着用等の要請 (3)感染症拡大防止に配慮した会場配置、設備等の設置 (4)商品の衛生管理徹底や医療スタッフの配置等、感染症拡大防止に配慮したイベント運営 (5)イベント内での新型コロナウイルスに関する普及啓発コーナーの設置 (6)長時間、会場に滞在しなくても楽しむことのできる企画の充実(YouTubeを活用した動画の放映、テイクアウト弁当の販売等) (7)接触確認アプリ(COCOA)のインストール及び会場滞在時の稼働についての呼びかけ (8)YouTubeを活用した混雑状況のライブ配信  ※事業内容は、越中とやま食の王国ホームページや実行委員会の構成団体等を通じて公表し、ノウハウ等の横展開を図った。	県内市町村等が実施するイベント等での基準(参考事例)として、その他のイベントでも新型コロナウイルス感染症対策が実践された。
123	オンライン「とやま農林水産業」就業推進事業	新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインを活用した就業相談の実施や就業情報の発信強化等により、失業者等を含む新規就業者の確保を図るもの。	5,157,450	・オンライン相談を実施するためのHP改修と機材整備 ・農林水産業のPR動画を6本製作し、HPで公開 ・農林漁業への就業希望者を対象に体験研修を実施	感染症対策で県内外でのPR活動や就農相談が制限される中、HP等を活用し、富山県農林漁業の情報・魅力を広く発信し、人材確保に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
124	とやま都市農村リモート交流事業	リモートによる新たな都市農村交流スタイルを創出し、移住・定住を促進する。	3,500,000	○リモートによる都市農村交流事業を実施 ・とやま農山漁村インターンシップの開催 →オンラインで首都圏から大学生4名が参加 ・とやま帰農塾の開催 →オンラインで2塾(南砺塾、立山塾)の開催 ・田舎暮らしプロモーション映像の制作・配信 →とやま帰農塾5塾分の映像を制作	人の往来が困難となったコロナ禍において、リモートという新たなスタイルによる都市農村交流事業の継続的な実施に寄与した。
125	花を飾ってうらおい創出事業(うち公共施設等での花きの展示事業)	新型コロナの影響によって落ち込んだ花き需要の回復を図るため、公共施設等や交通拠点等への花きの展示に対して支援する。	1,000,000	花きの装飾展示等について支援した。 ・交通拠点において4回 ・公共施設等において6,088箇所・回	富山駅や県内の病院等において花きの装飾展示等が実施され、花きの消費拡大が図られた。
126	農業・食品産業強化対策整備交付金	新型コロナの影響により実需者が輸入にんじんから国産へ切り替えることに対応して、産地が安定的な供給を図るため、集出荷施設の整備を支援する。	5,812,000	にんじんの品質維持のための予冷施設(225㎡)と供給量拡大のための選別施設(300㎡)を整備した。	にんじんの栽培面積拡大と品質維持が図られた。
127	デジタル販路開拓支援事業	非対面・遠隔での海外展開に取り組む企業の意欲を後押しするため、越境ECやオンライン商談などに関するセミナー等を実施する。	3,929,491	非対面・遠隔での海外展開を支援するため、越境ECやオンライン商談に関するセミナーを5回開催 参加者205名(のべ人数)	コロナ禍で渡航・対面での販路開拓が困難な中、デジタルツールを活用した海外展開について、県内企業へ紹介することができた。
128	「とやまでテレワーク」県外企業との交流促進モデル事業	アフターコロナ時代を見据えて、県外企業のテレワーク需要の取り込みを図るとともに、当該テレワーク事業者と県内企業人との交流により、県内産業における新規ビジネスの創出、テレワークの推進等につなげる。	10,426,610	計4回のプログラム(Zoomによるオンラインで実施)を通じ、アイデアソンを実施。県外在住の大学生や社会人14名が4グループに分かれ、課題解決の事業案を発表。2グループを表彰した。	県外在住のビジネスパーソンの方々が、地域で活躍する企業やキーパーソンと交流することで、県内の魅力を感じ、ワーケーションの促進に寄与した。また、県外参加者によるアイデアソンにより地域の課題解決につながる事業案も提案された。終了後、成果を新聞記事に掲載した。
129	とやま中小企業人材育成カレッジ事業	アフターコロナ時代に対応するため、オンライン受講を可能とする環境を整備する。	949,586	オンライン受講を可能とするため、ビデオカメラやパソコン、ディスプレイ等を整備。また、集合研修での感染拡大防止のため、アクリル板等を整備	受講者の感染拡大防止を図りつつ、オンライン研修を活用した受講機会の確保に寄与した。
130	県有施設感染症対策等促進事業	県有のスポーツ、文化施設等を県民などが安心・安全に利用できるよう、施設の適正な管理運営に必要な経費として指定管理料を増額するもの。	217,891,170	感染防止対策等のかかり増し経費等への対応 ・県有施設の指定管理制度導入施設:33施設	来館者が安心・安全に利用できる環境の整備に寄与した。
131	富山県赤坂会館管理運営委託事業	県民の都内での安全安心な宿泊施設の維持・確保のため、管理運営委託料の増額を行う。	45,000,000	県民の都内での安全安心な宿泊施設の維持・確保のため、利用料収入の減少や感染防止対策、利用促進に向けたPR活動の強化等のかかり増し経費に対応した。	利用者数の減少の中、感染拡大防止を図りつつ、事業継続に寄与した。
132	新生活様式チャレンジ商店街等支援事業費補助金	商店街のにぎわいを取り戻し、コミュニティ機能を回復させるため、商店街組織等の「新しい生活様式」構築のための取組みを支援する。	6,141,000	商店街等への補助:13件	商店街等の「新型コロナウイルス感染拡大防止」や「にぎわい回復」を図る取組みに必要な備品等の整備を補助することにより、事業継続に寄与した。
133	外国人材待機費用支援補助金	県内企業が海外から外国人材を受け入れる際に、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策(14日間の自宅等隔離)に対応するための宿泊費を補助する。	399,000	県内中小企業等が海外から外国人材を受け入れた際に、新型コロナウイルス感染症に関する国の水際対策として実施される、入国後14日間のホテル等での待機にかかる宿泊費を補助 ・補助申請件数15件(21名分)	・新型コロナウイルス感染症に関する水際対策(14日間の自宅等隔離)の対応等、中小企業の費用負担を軽減し、県内企業の労働力不足支援に寄与した。
134	コロナ離職者再就職支援事業	新型コロナの影響で離職を余儀なくされた求職者の再就職を支援するため、トライアル雇用を経た上での正社員化を支援する。	2,886,562	新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた者の早期の再就職支援を目的に、県内企業が一定期間試用雇用(トライアル雇用)した場合に、トライアル雇用助成金を支給するとともに、当該雇用を通じ、引き続き正規雇用が実現した場合に正規雇用助成金を支給(9社12名)	新型コロナウイルス感染拡大の影響による離職者の再就職支援、県内企業の労働力不足支援に寄与した。
135	オンライン販路開拓コンテンツ制作支援事業	ウィズコロナ時代の県内企業の競争力強化・販売促進の取組みを支援するため、県総合デザインセンターにデジタルコンテンツ制作に必要な機器等を整備する。	6,122,600	県総合デザインセンターのバーチャルスタジオ内に、配信用PC、カメラ、照明等から構成される撮影配信装置を整備し、リアルタイムのオンライン配信が可能となった。	リアルでの商品発表会やPRイベントの開催や効果が制限されている中、オンラインによるPR活動の支援が可能となり、オンライン商品発表会などの実施に当該設備が活用された。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金活用額(円)	実施状況	事業の効果
136	中小企業経営支援等対策費補助金	<p>&lt;富山県地域企業再起支援事業&gt; 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者、小規模企業者が経営力を取り戻し、かつ強化して反転攻勢につなげるため、販路開拓・売上向上や感染症対策等、迅速な再起に取組む事業に補助する。</p> <p>&lt;「とやまの食」ネット販売等緊急支援事業&gt; 新型コロナウイルスの拡大防止の観点から外出の自粛を余儀なくされている県内外の消費者に、家庭内で富山県産の農林水産物やその加工品を使った料理を味わってもらうため、インターネット販売により、宅配事業に取り組み県内事業者のホームページの開設・リニューアルや商品開発等を支援する。</p> <p>&lt;花を飾ってうるおい創出事業(うち新たな花きの家庭需要創出事業)&gt; 花き需要の回復を図るため宅配商品などの開発やホームページ等での販売促進等の取組み等へ支援する。</p> <p>&lt;着地型旅行商品造成支援事業&gt; 新型コロナウイルス感染症に伴い、旅行が控えられている期間を活用し、県内旅行会社を実施主体として、本県の魅力再発見につなげる新たな着地型旅行商品を造成することにより、県内周遊や観光消費拡大を促す。</p>	318,933,666	<p>&lt;富山県地域企業再起支援事業&gt; 第1弾 中小企業者等への補助:327件 第2弾 中小企業者等への補助 従来枠:561件、別枠:159件</p> <p>&lt;「とやまの食」ネット販売等緊急支援事業&gt; 中小企業者等への補助:6件</p> <p>&lt;花を飾ってうるおい創出事業(うち新たな花きの家庭需要創出事業)&gt; 中小企業者等への補助:7件</p> <p>&lt;着地型旅行商品造成支援事業&gt; 中小企業者等への補助:12件</p>	<p>&lt;富山県地域企業再起支援事業&gt; 生産性の向上や事業モデルの変革、デジタル技術を活用した新サービスの提供などの施策の目的に合った取組みが実施され、一定の効果があつた。また、この補助事業を機に業態転換や新分野に進出する取組みも多く見られ、地域経済の持続可能性に大きく寄与した。</p> <p>その他、地域企業のモデルとなるような事業も多く実施され、今後、県内において事業効果の波及が期待される。</p> <p>&lt;「とやまの食」ネット販売等緊急支援事業&gt; インターネット販売を始めるためのホームページの開設等に取り組んだ事業者数及び売上増加額、インターネット販売用に新たに開発した商品の数、売り上げ増加額等を指標とし把握することで、新事業展開による価値を創出した。</p> <p>&lt;花を飾ってうるおい創出事業(うち新たな花きの家庭需要創出事業)&gt; 本事業によりECサイトを通じた花き販売の促進や花きの宅配商品(少量・コンパクトで発送コストが安く初心者でも飾りつけやすい、定額制で花材が選べる)等の開発の取組を支援することで、県内花き関係事業者の新事業展開による販路開拓や売上向上に寄与した。</p> <p>&lt;着地型旅行商品造成支援事業&gt; 着地型旅行商品27コースを新たに造成し、着地型旅行商品18件268人分を販売したことにより、県内観光業界全体における新たな価値創出に寄与した。</p>
137	信用保証料差額補助金	新型コロナウイルスの影響を受けた中小企業者が融資を受ける際に必要な信用保証料の負担を軽減する。	65,431,000	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業者に対して、約135億円の融資を実行し、保証料の一部を補助	事業者の保証料負担を軽減することで、中小企業者の資金繰りを支援し、事業継続に寄与した。
138	富山県中小企業リバイバル補助金	新型コロナウイルスの影響を受けた中小企業者、小規模企業者が、「ウィズコロナ、ポストコロナを見据えた「新しい生活様式」やデジタル化に対応し、事業活動を再建し成長、発展するため、販路開拓や感染症対策、DX等に加え、企業連携や業態転換等による新ビジネスの創出などに意欲的に取り組む事業に補助する。	1,423,908,323	第1次募集 中小企業者等への補助:903件 第2次募集 中小企業者等への補助:660件	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者、小規模企業者が、事業活動を再建し成長、発展するための意欲的な取組みの推進に寄与した。
139	富山県芸術文化活動再開モデル応援事業	芸術文化活動のリモート教室への支援希望が多数寄せられたことから、支援対象団体数を増やして更なる支援を行う。	1,287,000	技術支援スタッフのサポートのもと、インターネットを活用した動画配信、リモートレッスンなどを15団体が実施	新型コロナウイルス感染症により、対面での指導やイベントが困難な状況であるなか、各団体がデジタル技術を活用してレッスン等を実施する環境づくりをサポートし、県民が文化に触れ、学ぶ機会の確保に寄与することができた。
140	県美術館駐車場改修事業	駐車場精算機を改修し、駐車場整理員と接触せずに入出庫を可能とする。	24,200,000	駐車場精算機を改修し、車番認識システムを増設	車番認識システムを増設することで、駐車券発券・精算処理を非接触で行うことができるようになり、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与することができた。
141	県美術館代替企画展開催事業	コロナ対応により中止となった企画展の代替企画展を開催し、県民への文化鑑賞の機会を提供する。	7,617,236	中止・延期となった企画展の代替企画展として、新たに1つの企画展を開催	新型コロナウイルス感染症により、県境をまたぐ移動が制限されるなか、富山県美術館の収蔵作品を中心に紹介する企画展を開催し、感染防止対策を講じながら県民が芸術文化に触れる機会を提供することができた。
142	水墨美術館代替企画展開催事業	コロナ対応により中止となった企画展の代替企画展を開催し、県民への文化鑑賞の機会を提供する。	3,007,424	中止・延期となった企画展の代替企画展として、新たに2つの企画展を開催	新型コロナウイルス感染症により、県境をまたぐ移動が制限されるなか、水墨美術館の収蔵作品を中心に紹介する企画展を開催し、感染防止対策を講じながら県民が芸術文化に触れる機会を提供することができた。
143	創造型・舞台芸術人材育成プログラム配信事業	利賀で活動する劇団SCOTの演劇映像や俳優訓練法スズキ・トレーニング・メソッドの基礎部分等をオンライン配信し、アフターコロナの利賀への誘客促進を図る。	6,000,000	劇団SCOTの演劇映像や俳優訓練法スズキ・トレーニング・メソッドの基礎部分等の動画を配信(令和3年2月)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛期間中や外出に不安を抱える期間においても自宅等で劇団SCOTの演劇を鑑賞できる機会を提供した。
144	立山山麓自然体験活動促進事業費	アフターコロナでの自然体験活動を促進するため、より安全で魅力的な遊具にリニューアルすることにより屋外活動の場を充実させ、子供の居場所づくりとともに、安心して自然に触れる機会を確保するもの。	13,695,000	立山山麓家族旅行村に複合遊具(アスレチック体験)及びスカイロープ(ターザン体験)を設置	気軽に利用できる遊具の設置により、屋外体験・運動機会を提供し、自然に興味を向けるきっかけづくりに寄与した。
145	頼成の森魅力発信事業費	アフターコロナでの自然体験活動を促進するため、園内の遊具の更新および国道からの入口の改修、看板の整備を行うことにより、自然環境と森林浴を楽しむことができる頼成の森の魅力アップとアクセス性の向上を図る。	16,546,000	頼成の森入口の拡幅、看板の設置、園内遊具の改修(シーソー補修、スプリング遊具更新)を実施	頼成の森入口幅拡大と新看板設置により、外からでも目立ち、従来より入園しやすくなる等アクセス性が向上した。また、園内遊具の更新により、来園者の遊具利用を促進すると同時に園内での森林浴も楽しむことができ、魅力アップに寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金活用額(円)	実施状況	事業の効果
146	樺平園地等トイレリフレッシュ事業費	アフターコロナでの自然体験活動を促進するため、黒部峡谷の利用拠点である樺平園地、祖母谷野営場、鐘釣園地における既存公衆トイレの洋式化を行い、感染症拡大防止対策と、外国人利用者等へ配慮した施設へと改修し、黒部峡谷観光の魅力向上を図る。	10,560,000	樺平園地、祖母谷野営場、鐘釣園地の既存公衆トイレの洋式化工事を実施	洋式化により、感染拡大防止対策に寄与し、利用者の安全性、快適性の向上につながった。
147	雨晴野営場等利用促進事業費	アフターコロナでの自然体験活動を促進するため、雨晴野営場の公衆トイレの外装、水回りに劣化があるため改修し、利便性向上を図る。また、中部北陸自然歩道「二上山万葉の歴史を偲ぶみち」において、劣化した四阿の更新を行い、利用者の利便性向上を図る。	9,020,000	雨晴野営場の公衆トイレと中部北陸自然歩道「二上山万葉の歴史を偲ぶみち」の四阿の改修を実施	コロナ禍で自然体験活動に注目が集まる中、雨晴野営場等の利便性が向上したことにより、利用促進につながった。
148	山小屋感染症対策緊急支援事業	遭難救助対応や登山道の維持管理等、山岳地において重要な役割を担っている山小屋の持続的な経営の維持に向けて、感染症対策を支援する。	8,635,997	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した県内の中部山岳国立公園内における山小屋の感染症対策強化や、経営力を取り戻す取組みに要する経費に対し補助を実施	登山者が安心して利用できる環境となり、登山利用の拠点となる山小屋の存続に寄与した。
149	地方消費者行政強化交付金	消費生活センターによる、SNSでの情報発信や、ICTを活用した(PCIによるビデオ通話による)消費生活相談実施のための環境整備を行う。	288,200	・SNSを利用して消費者被害防止のための注意喚起・製品事故・講座・イベントなど消費生活に関する情報を発信 ・あわせてICTを活用した消費生活相談実施に向け環境を整備	コロナ禍で対面での活動が制約されるなか、SNSによる積極的な情報発信に取り組み、若年層を含む多くの県民に消費トラブルの防止や相談窓口の周知に寄与した。
150	文化施設における感染症対策事業	文化施設における感染症対策のため、感染症対策物品の購入や密を回避するためのデジタル展示等を導入する。また、展示室内の換気を行うことに伴う、温湿度の変化による収蔵品の劣化を避けるため、密閉型展示ケースの導入により、コロナ禍での観覧に対応する。	62,187,000	・感染防止対策のための除菌シート、アルコール消毒液等各種消耗品の配備 ・ネットワーク環境整備及びタブレット端末の導入 ・入場者カウントシステム、体温検知機能付き顔認証カメラ、パーテーション等の導入	県立文化施設における新型コロナウイルス感染症対策を強化することができた。
151	スクールカウンセラー配置事業	新型コロナウイルス感染症拡大により、児童生徒の不安やストレスの高まりが想定されることから、自殺や不登校等の防止のため、スクールカウンセラーを県単独で追加配置する。	23,550,000	・配置期間：令和2年4月～令和3年3月 ・小中義務教育学校、高等学校への配置時間数の追加	新型コロナウイルス感染症の影響により、不安やストレスを抱えた児童生徒に対するきめ細やかな支援を行うことができた。
152	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) 感染症対策を徹底しながら児童生徒の学習保障をするための試みを各学校の裁量で柔軟に対応できるように学校教育活動の再開を支援する。 (感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 学校の感染症対策を徹底したうえで、学校教育活動を円滑に継続するために各学校の裁量で柔軟に対応できる経費等を支援する。	136,506,218	全県立学校56校に対し、感染症対策に必要な物品の整備及び夏季休業短縮により研修機会を逸した教職員への研修受講支援等を実施した。	感染症対策用物品整備・教職員への研修支援等の実施により、感染症リスクを最小限にしながら学校活動を再開・継続させ、生徒の学びを保障する体制の整備を推進した。
153	担い手育成・確保等対策地方公共団体事業費補助金	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による人手不足を解消するため、将来の農業生産を支える人材を育成する。	32,299,789	農業学科を有する県立高校5校で、GPSトラクタや薬剤散布用ドローン等の先進農業機械・ICT管理機械等を導入した。	先進農業機械等を導入することで、生産現場で即戦力となる人材の育成につなげ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による農業の担い手不足の解消・農業生産の維持に寄与した。
154	学校施設の修繕	トイレの自動栓化や換気扇設置、体育館排煙窓等の感染症防止対策を実施する。	433,426,631	全県立学校56校で、手洗いの自動水栓化、換気扇設置、排煙窓改修等の感染症防止対策工事を実施した。	施設改修工事により適切な換気や非接触型の新しい生活様式への取り組みが可能となった。
155	学校部活動応援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により日頃の成果を発表する機会が変更・中止となった文化部の発表活動を支援する。	1,500,000	・全国高総文祭がWEB発表になったことによる動画制作のための追加費用支援 ・吹奏楽部の県・全国規模コンクールの代替大会の実施経費支援	感染対策を講じながら、児童生徒が活動成果を発表し、芸術文化に触れる機会を提供することができた。
156	富岩水上ライン推進事業	新型コロナウイルスの感染拡大により、乗船客数と乗船料収入の減少が生じたが、安全な運航体制の確保が必要なことから運航の支援金として支出。	2,000,000	利用料収入の減少額の一定割合を、上限額を設けて支出 支援金額：2,000千円	利用が減少していた富岩水上ラインの安全な運航体制の継続に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
157	ICT教育推進事業費	GIGAスクール構想による整備を加速するため、県立学校の教員・生徒1人1台のタブレット端末配備を行う。	1,596,734,510	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校生生徒用Windowsタブレットおよびソフトウェア20,836台整備</li> <li>・県立高校教員用Windowsタブレットおよびソフトウェア265台整備</li> <li>・特別支援学校生徒用iPadおよびソフトウェア711台整備</li> <li>・特別支援学校教員用iPadおよびソフトウェア600台整備</li> <li>・転用タブレット用ソフトウェア1,852台整備</li> <li>・転用タブレット再配備646式設定</li> <li>・officeライセンス(ユーザライセンス)2,500ライセンス購入</li> <li>・タブレット管理カート 生徒用545台、教員用45台整備</li> <li>・県立学校無線LAN環境追加整備</li> <li>・特別支援学校生徒用LANスイッチ整備</li> <li>・フロア電源工事実施</li> </ul>	学校が休校となった場合においても、遠隔授業や課題配信の実施を行うなど、生徒の学びを止めることなく学習支援を行うことができた。
158	高校生の就職支援緊急事業費	新型コロナ感染拡大の影響により企業の求人等の減が見込まれる中で、高校生の就職活動を支援するキャリア教育アドバイザーの配置を行う。	1,970,615	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、高校生の雇用情勢は例年より厳しく推移することが懸念されていた。そこで、10月1日～翌年3月31日まで2名増員するとともに、4月から配置されていた2名の期間を翌年2月末から3月末まで延長したことで、県下4地区に各1名配置した。	就職選考の開始日が例年よりも1か月遅れとなったり、県立高校の県内企業からの求人が昨年より25%程度減少したりするなど、厳しい状況であったが、就職率99.9%(全国1位)を達成した。
159	県立学校授業料web口座振替登録事業	新型コロナウイルス感染症の第2波に備え、県立高校授業料等に係る業務において、人と人との接触を回避するため、「Web口座振替受付サービス」を導入する。	4,009,500	第一地方銀行を授業料等の振替口座に指定する場合、銀行の窓口へ行かなくても、自宅等で都合の良い時間にスマートフォンやPCから口座登録の手続きができるようになった。	令和3年度の入学生保護者のうち77.6%の方が、自宅等で登録手続きができるようになり、感染リスクの回避や負担軽減につながった。
160	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるために保健衛生用品を整備する。	3,905,000	県立学校56校へ下記保健衛生用品等を整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒液</li> <li>・非接触体温計</li> </ul>	感染症対策に必要な保健衛生用品等を整備することにより、教員の負担を軽減し、児童生徒が安心して学べる環境作りに寄与した。
161	DX対応職員育成事業	アフターコロナ時代への対応として県庁におけるDXを推進するため、最先端の情報テクノロジーに明るく、DXに対応できる職員を育成する。	4,111,250	若手・中堅職員をターゲットに、DXに関する講座と、情報テクノロジーに関する研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・DXに関する講座:40名</li> <li>・情報テクノロジーに関する研修:10名</li> </ul>	講座、研修の受講により、県庁におけるDXの推進に対応するための知識等を習得した職員の育成に寄与した。
162	「MAKE TOYAMA STYLE」実践発信事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立に向け、県民や事業者の取り組み事例等を効果的に発信する。	7,000,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場レポート:20件</li> <li>・新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための県民や県内事業者の取り組みをレポート形式で紹介</li> <li>・新聞広告掲載:2件(3紙)</li> <li>・県広報とやま臨時号発行:1回</li> </ul>	「メイク富山スタイル」を合言葉に、富山県民が一丸となって新たな日常を創っていく取り組みを後押しすることができた。
163	文化芸術振興費補助金	文化施設(富山県民会館)の開館にあたって必要な感染症対策等を実施する。	467,278	感染防止対策のためのアルコール消毒液等各種消耗品や体温測定サーマルカメラ(1台)、空気清浄機(2台)などを設置	アルコール消毒液の配備や体温測定サーマルカメラ、空気清浄機の設置などにより、施設利用者に対して新型コロナウイルス感染予防対策を講じることができた。
164	文化芸術振興費補助金	文化施設(教育文化会館)の開館にあたって必要な感染症対策等を実施する。	10,250,943	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策のためのアルコール消毒液等各種消耗品や体温測定サーマルカメラ(1台)、空気清浄機(1台)などを設置</li> <li>・空調設備更新工事の実施</li> </ul>	アルコール消毒液の配備や体温測定サーマルカメラ配置、空調設備更新工事などにより、施設利用者に対して新型コロナウイルス感染予防対策を講じることができた。
165	文化芸術振興費補助金	文化施設(高岡文化ホール)の開館にあたって必要な感染症対策等を実施する。	461,062	感染防止対策のためのアルコール消毒液等各種消耗品や体温測定サーマルカメラ(2台)、空気清浄機(2台)などを設置	アルコール消毒液の配備や体温測定サーマルカメラ、空気清浄機の設置などにより、施設利用者に対して新型コロナウイルス感染予防対策を講じることができた。
166	文化芸術振興費補助金	文化施設(新川文化ホール)の開館にあたって必要な感染症対策等を実施する。	732,042	感染防止対策のためのアルコール消毒液等各種消耗品や体温測定サーマルカメラ(2台)、空気清浄機(6台)などを設置	アルコール消毒液の配備や体温測定サーマルカメラ、空気清浄機の設置などにより、施設利用者に対して新型コロナウイルス感染予防対策を講じることができた。
167	文化芸術振興費補助金	文化施設(県民小劇場)の開館にあたって必要な感染症対策等を実施する。	149,688	感染防止対策のためのアルコール消毒液等各種消耗品や体温測定サーマルカメラ(1台)などを設置	アルコール消毒液の配備や体温測定サーマルカメラ設置などにより、施設利用者に対して新型コロナウイルス感染予防対策を講じることができた。
168	文化芸術振興費補助金	文化施設(利賀芸術公園)の開館にあたって必要な感染症対策等を実施する。	299,084	感染防止対策のためのアルコール消毒液等各種消耗品や体温測定サーマルカメラ(1台)、空気清浄機(2台)などを設置	アルコール消毒液の配備や体温測定サーマルカメラ、空気清浄機の設置などにより、施設利用者に対して新型コロナウイルス感染予防対策を講じることができた。
169	文化芸術振興費補助金	文化施設(富山県美術館、高志の国文学館、水墨美術館、立山博物館)の開館にあたって必要な感染症対策等を実施する。	10,461,325	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立美術館・博物館(4施設)において、感染防止対策のためのアルコール消毒液等各種消耗品や空気清浄機(14台)などを設置</li> <li>・空調設備更新工事の実施。(立山博物館)</li> </ul>	アルコール消毒液の配備や空気清浄機の配置、空調設備更新工事などにより、来館者に対して新型コロナウイルス感染予防対策を講じることができた。
170	行政財産使用料の減免	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた県有施設のテナント等に対して、休業期間の使用料等の減免(還付)を行う。	5,830,026	緊急事態宣言による県有施設62施設の休業・休校期間中の使用料を減免	利用者がいない期間の使用料を免除することで、事業者の減収補填に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金活用額(円)	実施状況	事業の効果
171	「新しい生活様式」に対応した県立文化ホール等におけるデジタル配信環境整備事業等	県立文化ホール等における公演のデジタル配信のための環境整備を実施する。	50,039,527	県有施設12施設のデジタル配信・WEB会議等に対応可能な通信環境の整備や、配信用機材を整備	施設内における感染拡大防止を図りつつ、オンライン配信を活用した公演機会等の確保に寄与した。
172	富山県行政情報ネットワーク強靱化対策費	アフターコロナ時代を見据え、行政用県域WANの回線帯域を増強するため機器更新を行う。	20,515,000	庁内LANや教育NOCの接続回線として利用している富山県行政情報ネットワーク機器の更新を実施	クラウドサービスをストレスなく利用するために必要となる通信速度に対応できるようにしたことで、テレワークの推進など職員の業務効率化に寄与した。
173	教育ネットワーク整備事業	コロナ禍において、県立学校の教育ネットワークをより安全かつ高速な通信環境とするため、再整備を行う。	24,628,000	県立学校41校で教育ネットワークの再整備を実施	安全で高速な通信ができるよう各学校の教育ネットワークの再整備を行うことにより、コロナ禍のオンライン授業等に対応できるようになった。
174	文書管理システムの改修	アフターコロナを見据え、DXを推進するための最初の一步として文書管理システムによる電子決裁を推進する。	12,967,900	電子決裁の増加に対応するため文書管理システムのサーバを増設するとともに、決裁文書の処理状況が容易に確認できるようシステム改修を行い、利便性の向上を図った。	コロナ禍のテレワークにおいて、文書の電子決裁が容易になったことで、県庁のDX・働き方改革を推進した。
175	庁内LAN仮想基盤構築事業	庁内LAN環境を全面的に見直し、クラウドサービスへの移行と必要なリソースの確保(ファイルサーバの増強、パソコンの機能強化等)、テレワーク環境の拡充のための基盤整備等を行う。	435,336,880	県庁のDX・働き方改革を推進するため、庁内LANを再構築し、テレワーク環境の拡充や、庁内LAN環境の無線化、パソコンのモバイル化、ファイルサーバの増強等を行った。	モバイルパソコンの配備や庁内LAN無線環境の整備により、コロナ禍においても場所にとらわれずに業務ができるようになり、テレワークなど県庁のDX・働き方改革を推進した。
176	県内主要神社等の混雑状況配信事業	新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、県民が多く参拝されることが予想される初詣について、神社等の施設外に定点カメラを設置・中継することにより混雑状況がリアルに把握可能になり、県民に密を回避してもらう。	7,946,000	年末年始に県内の主要神社等7箇所に定点カメラを設置し、中継を行った。配信期間中のアクセス件数は、23万件以上(うち12月31日～1月3日は14万件以上)。	初詣等で多くの参拝者が集中する神社等における密の回避を促すことで、新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与した。
177	県庁DX化推進事業	県庁のデジタル化やテレワーク環境の拡大に向け、庁内LAN環境を全面的に見直すとともに、電子決裁の推進に向けた各種システム改修や、出退表示システムの改修を行う。	685,475,037	県庁のDX・働き方改革を推進するため、各種クラウドサービスの導入や、出退勤表示システムのweb化、庁内システムの電子決裁対応、セキュリティの強化等を行った。	各種クラウドサービスや庁内システムの電子決裁化推進により、テレワーク等の事務のデジタル化が推進された。
178	教育支援体制整備事業費補助金	夏休み期間等における授業実施に必要な学習指導員等を拡充配置する。	1,694,203	配置期間:令和2年7月～令和3年3月 配置人数:延べ26人	新型コロナウイルス感染症の影響で休校となった分の補習授業を円滑に進めることができた。
179	教育支援体制整備事業費補助金	緊急スクール・サポート・スタッフの拡充配置、夏休み期間等における授業実施に必要な学習指導員や非常勤講師等の拡充配置を実施する。	87,771,190	配置期間:令和2年6月～令和3年3月 配置校数・人数: スクール・サポート・スタッフ…260校 学習指導員や非常勤講師等…延べ209人	新型コロナウイルス感染症対策の消毒作業をスクール・サポート・スタッフに担っていただくことにより、教員の負担軽減につながった。また、新型コロナウイルス感染症の影響で休校となった分の補習授業を円滑に進めることができた。
180	公立学校情報機器整備費補助金	GIGAスクール構想による整備を加速するとともに、遠隔授業実施等に必要環境整備を行う。	4,703,000	・県立高校用Webカメラ215式整備	学校が休校となった場合においても、遠隔授業や課題配信の実施を行うなど、生徒の学びを止めることなく学習支援を行うことができた。
181	学校保健特別対策事業費補助金	特別支援学校のスクールバスを増便し、車内密度の低減を図ることで新型コロナウイルス感染リスクを低減する。	5,562,000	乗車率を50%以下とするため、通常23台のバスで運行しているところ、バス18台とタクシー1台を増便し、42台体制で運行	スクールバス内での感染拡大防止に寄与した。
182	学校保健特別対策事業費補助金	特別支援学校のスクールバスを増便し、車内密度の低減を図ることで新型コロナウイルス感染リスクを低減する。	22,030,000	乗車率を50%以下とするため、通常23台のバスで運行しているところ、バス18台とタクシー1台を増便し、42台体制で運行	スクールバス内での感染拡大防止に寄与した。
183	ICT教育推進事業費	GIGAスクール構想による整備を加速するとともに、遠隔授業実施等に必要環境整備を行う。	2,481,248	・特別支援学校用iPad292台設定	学校が休校となった場合においても、遠隔授業や課題配信の実施を行うなど、生徒の学びを止めることなく学習支援を行うことができた。
184	5G・ICT利活用モデル開発実証事業	県内における5G、ICTを活用した地域課題解決に向けたモデル事業(スマート農業、鳥獣対策)の実施を支援する。	33,797,000	・高精細カメラやAIを活用したブドウの育成状況の分析等、安心安全で省力化できるIoTプラットフォームを構築 ・ローカル5Gを活用した鳥獣追い払いを実証	コロナ禍において顕在化した農家の高齢化、担い手不足等の地域課題に対応する5G、ICT利活用モデルの構築に寄与した。
185	富山県飲食業関連事業者支援給付金	酒類を提供する飲食店への時短要請により、直接影響を受けた事業者を支援するため、飲食店と直接取引を行っている事業者及び運送代行業に対する給付金を支給する。	74,662,806	・支給件数 292件 ・定額 200,000円	事業者の事業継続を支援することで、地域経済の回復に向けた活動に寄与した。
186	介護保険事業費補助金	介護サービス事業所等が必要な介護サービスを継続して提供できるよう、衛生用品等の購入費用や人材確保に係る経費等に対して補助を行う。	688,000	補助件数:6事業所	かかり増し経費への補助により、必要なサービス提供の継続に寄与した。
187	介護ロボット導入拡大支援事業	新型コロナウイルス感染症による業務負担増等に対応するため、業務効率化を図る介護事業者の介護ロボット導入経費に対して補助を行う。	33,351,000	補助件数:28法人52事業所	介護ロボットの導入経費の補助により、介護従事者の負担軽減や施設・事業所における生産性の向上に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
188	とやまっ子インフルエンザ予防接種助成事業	新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を抑制し、医療機関の負担軽減と子育て世帯の経済的・精神的負担を軽減することを目的に、未就学児・小学生のインフルエンザの予防接種費用に助成する。	391,080,000	・助成対象期間：令和2年10月1日～令和3年1月31日 ・助成利用実績(未就学児)：67,076人(うち1回目接種35,995人、2回目接種31,081人) ・助成利用実績(小学生)：60,244人(うち1回目接種35,547人、2回目接種24,697人)	新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行の抑制、および医療機関の負担軽減と子育て世帯の経済的・精神的負担の軽減に寄与した。
189	児童福祉事業対策費等補助金	＜オンライン児童相談体制整備事業＞ 児童相談所にタブレット端末を導入し、テレビ電話を活用した相談支援を実施することで、感染防止を図りながら児童のよりの確かな状況把握や支援が可能となる。 ＜児童相談所ICT機器導入支援事業＞ 児童相談所が関係機関との連絡調整を行う際にテレビ会議を活用し、感染防止を図りながらより迅速な連携を図る。 ＜オンラインDV相談体制整備事業＞ 女性相談センターにパソコン端末を導入し、オンラインでのDV相談を行うなど、感染防止を図りながらよりの確かな状況把握や支援を図る。	745,890	県内の児童相談所(2か所)、女性相談センター(1か所)に、それぞれ、オンラインでの相談支援や、関係機関等とのオンラインでの連絡調整に使用するタブレット、ノートパソコン、WEBカメラやマイクなどの周辺機器を購入した。	オンラインツールを活用し、感染症対策に配慮しながら、相談支援を継続することができた。また、県内外の関係機関における会議等がオンライン化されたが、当該事業で購入した機器を活用し、感染拡大防止を図りながら、相談技能の向上や、迅速な情報共有を行うことができた。
190	ひとり親家庭支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により影響を大きく受けているひとり親家庭を支援するため、県内スーパーで利用可能な商品券を配付する。	65,604,000	・商品券(1万円分)を対象申請者へ送付 ・送付者数：5,344人	ひとり親家庭の経済的負担(学校の休校等による食費負担の増等)の軽減に寄与した。
191	ひとり親世帯生活支援給付金支給事業	長期化する新型コロナウイルス感染症拡大により、経済的・精神的負担の影響を大きく受けているひとり親家庭に、給付金を支給する。	182,090,790	・該当する1世帯あたり3万円を給付 ・給付対象者数：6,019人(世帯)	ひとり親家庭の経済的負担の軽減に寄与した。
192	がんばる子育て家庭支援融資元金返済猶予の特例制度	新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した家庭を支援するため、がんばる子育て家庭支援融資の元金返済を最長一年間猶予する。	37,836	補助件数：4件	新型コロナウイルス感染症の影響により元金返済が困難な方に対して、経済的負担の軽減を図ることができた。
193	障害者総合支援事業費補助金	【障害福祉サービス等の衛生管理体制確保支援等事業】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、居室への簡易陰圧装置の設置費用、感染者が発生した場合における施設消毒費用などを支援する。	1,366,875	3事業者3施設に対し、簡易陰圧装置等計(19台)の設置費用等を補助	障害福祉サービス事業所での簡易陰圧装置設置費用等を支援することで、障害福祉サービス事業所での感染拡大防止に寄与した。
194	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	371,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村：富山市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
195	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	42,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村：高岡市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
196	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	9,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村：魚津市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
197	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	8,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村：氷見市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
198	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	8,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村：滑川市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
199	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	11,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村：黒部市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
200	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	107,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村：砺波市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
201	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	4,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村：小矢部市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金活用額(円)	実施状況	事業の効果
202	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	21,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村:南砺市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
203	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	15,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村:射水市	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
204	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	2,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村:上市町	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
205	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	4,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村:立山町	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
206	障害者総合支援事業費補助金	【特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業】 特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が追加的に生じた利用者負担等を支援する。	2,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別支援学校等の休業に伴い追加的に生じたサービスに係る支援 ・補助市町村:入善町	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用が増加することによる市町村負担及び利用者負担を軽減し、障害児の福祉の向上に寄与した。
207	障害者総合支援事業費補助金	【新型コロナウイルス感染拡大に伴う地域活動支援センターや日中一時支援事業の受け入れ体制強化等】 地域活動支援センターや日中一時支援での受け入れに伴う支援員の増などの体制強化や消毒などに必要なかかり増し経費を支援する。	61,000	新型コロナウイルス感染拡大に伴う、地域活動支援センターや日中一時支援での新たな受入ニーズ及び居宅における体幹障害者等への訪問入浴サービスの提供体制を強化するため市町村へ補助を実施 ・補助市町村:射水市	新型コロナウイルス感染症拡大に対応した受け入れ体制強化に係る経費を補助することで、障害者への支援体制を充実させることができた。
208	障害者総合支援事業費補助金	【新型コロナウイルス感染拡大に伴う訪問入浴サービス等体制強化事業】 日常生活の支援体制の強化等を図るため、訪問入浴サービスなど障害者の生活に不可欠なサービス提供体制を強化する。	8,000	新型コロナウイルス感染拡大に伴う、地域活動支援センターや日中一時支援での新たな受入ニーズ及び居宅における体幹障害者等への訪問入浴サービスの提供体制を強化するため市町村へ補助を実施 ・補助市町村:射水市	新型コロナウイルス感染症拡大に対応した受け入れ体制強化に係る経費を補助することで、障害者への支援体制を充実させることができた。
209	衛生研究所バイオクリーンルームの空調設備整備事業	新型コロナウイルスの検査等を行っている衛生研究所バイオクリーンルームの空調設備の更新を行う。	31,317,000	衛生研究所で新型コロナウイルス感染症の検査・研究を行っているバイオクリーンルームの空調設備の改修工事を実施	衛生研究所における新型コロナウイルス感染症への検査・研究体制の強化を図ることができた。
210	新型コロナウイルス検査・研究用備品整備事業	衛生研究所において新型コロナウイルスの検査・研究を行うにあたり、病原体を分離培養するための機器を整備する。	903,870	衛生研究所に新型コロナウイルス感染症の検査・研究用としてCO2インキュベーター1台を整備	衛生研究所における新型コロナウイルス感染症への検査・研究体制の強化を図ることができた。
211	年末年始の医療提供体制確保にかかる協力金	医療機関が一斉に休業に入る年末年始にインフルエンザの流行や新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者の多発に備えるための医療機関への支援及び対策徹底の啓発を実施する。	6,654,720	年末年始(令和2年12月29日～令和3年1月3日)に救急医療体制を令和元年度よりも強化した医療機関(16医療機関)に、協力金を交付	医療機関等の協力を得て、年末年始の救急医療体制の強化・確保に寄与した。
212	年末年始の救急医療従事者等への慰労金交付事業費補助金	新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念される未曾有の状況のもと、一般の医療機関が休診となる年末年始の期間に、救急医療機関において救急対応のために勤務する医療従事者等に対し慰労金を支給する。	27,706,000	・1人3万円 ・交付実績:101医療機関(3,214人)	年末年始の期間に救急医療機関において救急対応のために勤務された医療従事者等に対する慰労を図った。
213	特定不妊治療費助成の新型コロナウイルス感染症拡大による治療延期への対応	令和2年4月、新型コロナ感染症の影響から不妊治療の延期を推奨する声明が産婦人科医会等から出されたため、治療の延期を余儀なくされた影響を鑑み、県単独補助事業分について、国事業に準じ年齢要件を緩和することにより助成費を増加する。	850,000	新型コロナウイルス感染症の影響により治療の延期を余儀なくされた夫婦のうち、県単独補助事業分の5件分に対する助成を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、不妊治療の延期を余儀なくされた夫婦に対する助成を実施し、経済的・精神的負担の軽減を図ることができた。
214	とやま健康習慣向上オンライン講習会	コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン形式での講習会を開催する。	792,685	県内企業の管理職や人事労務担当者を対象に、講師2名の講演「睡眠が心身の健康と働き方や生活の質に与える影響」「富山県の睡眠満足度向上に向けた調査分析結果」をYouTube Liveにより配信した。	新型コロナの感染拡大防止のため会場を使った講習会を中止したなか、オンラインを活用することで、県内企業の管理職や人事労務担当者に対し、睡眠と健康、働き方等の普及啓発を行うことができた。
215	新型コロナウイルス検査体制強化事業	PCR検査の前処理時間の短縮、検査の省力化を図るため、専用試薬キットを使用可能なオプションフィルターを厚生センターのPCR検査機器に追加する。	1,210,000	令和2年12月に厚生センターのPCR検査機器にオプションフィルターを追加した。	オプションフィルターをPCR検査機器に追加することにより、検査件数の拡充・迅速化等(10→20件/日)が可能となり、新型コロナウイルス感染者の早期把握に寄与した。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
216	衛生研究所備品等更新整備費	感染症対策のため、老朽化している県衛生研究所の遺伝子増幅機器等備品の更新を行う。	8,198,124	令和3年8月に超微量紫外可視分光光度測定システム、画像解析装置、遺伝子増幅機器等を整備した。	左記検査機器の導入により、検査件数の拡充・迅速化等が可能となり、新型コロナウイルス感染者の早期把握に寄与した。
217	地域自殺対策強化交付金	県民が相談しやすいようにするため、心の健康センターに対面相談における感染症対策、オンライン相談環境を整備する。	60,130	①非接触型体温計測定器の導入により、来所者等の健康状態の確認後に面談を実施した。 ②相談室の机にアクリル板を設置し、飛沫感染に留意した。 ③相談室・会議室に必要に応じてサーキュレーター、扇風機を設置し、窓を少し開けるなど換気に留意した。 ④来所者が複数人になる際には、広い相談室を使用した。	目に見える感染対策を実施することで、感染拡大防止とともに、利用者が安心してセンターを利用できる環境が整備された。
218	地域自殺対策強化交付金	新型コロナウイルス感染症による影響で、多くの県民が不安やストレスを抱えていることから電話相談体制の拡充を行う。	1,527,899	令和2年10月から電話相談窓口を2回線に拡充	電話相談窓口を2回線に拡充したことで、多くの県民の相談を受け付けることができた。(R2年度実績:計2,782件)
219	飲食店等への営業時間短縮要請に伴う協力金	感染症拡大防止のため、酒類を提供する飲食店等を対象とした県の時間短縮要請に応じて、要請期間中、要請に従った店舗に対する協力金を助成する。	443,224,912	令和3年1月18日～1月31日に県の時間短縮要請に応じた店舗に対する協力金を3,793店舗に助成した。 定額 560,000円	飲食店等における会食に起因する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与した。
220	富山県新型コロナウイルス感染症公的病院内処方箋FAXコーナーにおける感染拡大防止等支援事業費補助金	県内公的病院内設置の院外処方せんFAXコーナーに係る感染拡大防止対策費用を助成し、感染リスクの低減を図る。	944,000	県内公的病院FAXコーナーに飛沫感染防止設備の設置・消毒剤購入	飛沫感染防止設備の設置、定期的な消毒等により感染拡大防止に寄与した。
221	富山空港を利用した誘客推進事業	東京便の積極的な利用を促すため、東京便利用を前提としたGo To Travelキャンペーン商品を造成する旅行会社に助成する。	5,595,000	首都圏から東京便を利用する団体観光旅行(Go To Travelキャンペーン商品)の造成に対して助成(3社、1,119人)	コロナ禍で利用者が大きく減少した東京便の利用促進に寄与した。
222	富山空港を利用した誘客推進事業	国内線利用者の二次交通の充実を図るため、低額でレンタカーを利用できるキャンペーンを実施する。	225,546	富山空港利用者に対して、レンタカー利用料金を助成(60件)	コロナ禍で利用者が減少した空港周辺のレンタカー事業者の経営安定に寄与した。
223	タクシー・高速バス等支援事業	観光やビジネス客の重要な交通手段であるタクシーや高速・貸切バス等が、利用者に対し安定したサービスが提供できるよう、事業者が所有する車両の維持に係る固定的経費を補助する。	348,558,000	タクシーや高速・貸切バスの保有台数に応じて、車両の維持に係る固定経費を支援 タクシー 865台 高速バス 67台 貸切バス 400台	コロナ禍で利用者が減少したタクシー、高速・貸切バス事業者の運行車両数の維持に寄与した。
224	富山空港航空会社運航支援事業	コロナ禍により航空利用客が大きく減少している中、減便しながらも運航を継続している富山空港を発着する国内定期路線の航空会社を支援することで県民生活や地域経済を支える航空路線・ネットワークを維持する。	10,037,349	コロナ禍で航空利用客が大きく減少したにも関わらず、航空路線・ネットワーク維持のため、運航を継続している航空会社に対して、6か月分の着陸料及び停留料の一部について支援	コロナ禍で利用者が大きく減少した国内定期路線の維持に寄与した。
225	富山空港機能維持支援事業	コロナ禍により航空利用客が大きく減少していることから、空港ターミナルビル運営会社を空港機能維持のため支援する。	16,903,614	富山空港に定期路線を就航している国内航空会社が負担するターミナルビル施設使用料のうち、空港ターミナルビル運営会社が減免した分(下期6ヶ月分)について支援	コロナ禍で収益が落ち込んだターミナルビル運営会社の経営維持に寄与した。
226	「とやまのおいしい朝ごはん」支援事業	県産食材を使用した地域ならではの「食」の魅力をアピールすることにより、観光誘客と満足度向上、リピーター確保を目指す「とやまのおいしい朝ごはん」の取組みを強化する。	2,250,000	・オンラインを活用した「とやまのおいしい朝ごはん」料理教室(参加者11名) ・お客様WEBアンケートシステム構築 ・インバウンド向けメニュー研修(参加者7名) ・ホームページリニューアル等 補助金額:2,250千円	コロナ後の誘客促進に向け、「とやまのおいしい朝ごはん」メニューの質向上・適切なPRにつなげる取組みに寄与することができた。
227	環水公園光の空間創出事業	新しい生活様式を踏まえ、環水公園内4エリアに、ミラーボールを使った、光と反射の空間を作り出すアートイルミネーションの展示を行い、来園者が安心して楽しむ空間を創るとともに、賑わいの回復につなげる。	10,000,000	アート集団「ミラーボール」の作品である光のオブジェを環水公園に設置するとともに、その点灯イベントを実施 ・点灯イベント:R2.12.19 ・オブジェ設置期間:R2.12.19～R3.2.28	光のオブジェ設置期間終了後の3月時点でSNS上に500件程度の写真が投稿されるなど非常に大きな反響があった。公園への来園を誘引することで、周辺地域への誘客、飲食店等での消費の拡大に寄与した。
228	貸切バスツアー事業利用促進事業	新型コロナの影響により利用が減少している貸切バスの利用促進のため、県内を周遊するバスツアーに対して支援する。	44,969,000	富山県及び近隣県を発着地とし、県内の貸切バスを利用して県内観光地を周遊するツアーに対し、バス料金を補助 ・補助件数:646件 ・補助総額:41,999千円	利用が減少していた貸切バスの利用促進を実施することにより、コロナ禍で疲弊していた県内バス事業者の事業継続につながった。
229	「地元で泊まろう!県民割引キャンペーン」事業(追加分)	段階的な県内観光需要の回復を図り、県民の皆様が県内観光地の魅力を再発見してもらうため、県内宿泊施設の県民割引キャンペーンを実施する。	85,736,000	県内宿泊施設の県民割引キャンペーンを実施 割引期間:令和3年2月23日～4月27日(4月1～2日は除く) 割引補填額:62,470千円	新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ県内観光需要の段階的な回復を図り、県民による県内の魅力の再発見に繋がった。

整理番号	事業名	事業の概要	交付金 活用額(円)	実施状況	事業の効果
230	富山湾の魅力発信事業	釣り・食・景観等を組み合わせた「冬の富山湾の新たな楽しみ方」を発掘し、雑誌への体験記事の掲載、撮影した動画のSNS等への発信、オンライン体験会、現地体験会を行うなど、冬の富山湾の魅力を広くPRする。	9,955,000	①動画、雑誌等での富山湾の魅力配信 ・釣り、食、景観等を組み合わせた「冬の富山湾の新たな楽しみ方」を動画配信(You tube)、雑誌・新聞掲載によりPR ②オンライン体験会開催 ・富山湾の食の魅力をオンライン体験会開催によりPR(参加者12名) ③現地体験会の開催 ・氷見市内で釣り体験、観光施設等の見学会を実施(参加者8名)	年間を通して穏やかで、冬場でも釣りを楽しめる富山湾のメリットを活かし、釣り・食・景観等を組み合わせた「冬の新たな富山湾の楽しみ方」についてPRを行うことで、新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ観光需要の回復と、冬場に向けた誘客促進を図った。
231	富山県ゴー・トゥ&ウエルカムホーム促進事業(増額分)	国の「Go To Travelキャンペーン」にあわせて、「富山県ゴー・トゥ&ウエルカム・ホーム促進事業」を展開し、本県への誘客を促進する(第2弾(12月から)として拡充)	181,240,680	県内宿泊施設に宿泊された方を対象に富山県ならではの特産品等を漏れなくプレゼントした。 ・12～3月応募者数:24,417名	コロナ禍で厳しい状況が続く宿泊事業者・物産事業者を支援するとともに、新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ観光需要の回復に寄与した。
232	メディアを活用したプロモーション事業	新型コロナウイルス感染症収束後、速やかな観光需要回復に向け、本県における観光需要が低下する冬季にプロモーションを実施する。	26,879,500	東京駅丸の内大型LEDビジョンを活用し、県内各市町の観光コンテンツの画像を掲載 ・期間:令和2年10月～令和3年2月	首都圏での本県の認知度の向上や、冬期～春季の誘客に寄与した。
233	富山空港機能維持管理支援事業	コロナ禍で定期便が減便・運休しているが、収束後の復便や運航再開、利用拡大に向けた準備に向け、空港の維持管理を実施する。	139,052,778	新型コロナウイルス感染症収束後の復便や運航再開、利用拡大に向けて、空港機能の必要な維持管理業務を実施	コロナ禍における航空機の安全な運航に寄与した。
234	障害者総合支援事業費補助金	ICTの活用による生産性向上の取組を促進し、安全・安心な障害福祉サービスを提供できるよう、障害福祉サービス事業所等におけるICT導入を支援する。	1,427,600	4事業者4施設に対し、ICT機器・設備等導入(計4件)にかかる費用の補助を実施	障害福祉サービス事業所等の新型コロナウイルス感染症拡大防止や生産性向上に寄与した。
235	障害者総合支援事業費補助金	介護業務の負担軽減等を図り、労働環境の改善、生産性の向上等を通じて安全・安心な障害福祉サービスの提供等を推進するため、障害福祉分野のロボット等導入を支援する。	698,000	2事業者2施設に対し、ロボット等導入(計26台)にかかる費用の補助を実施	見守り回数の軽減や腰痛予防軽減など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や職員の精神的・身体的負担軽減に寄与した。
236	学校保健特別対策事業費補助金	特別支援学校のスクールバスを増便し、車内密度の低減を図ることで新型コロナウイルス感染リスクを低減する。	18,238,103	乗車率を50%以下とするため、通常23台のバスで運行しているところ、バス18台とタクシー1台を増便し、42台体制で運行	スクールバス内での感染拡大防止に寄与した。
237	飲食店等への営業時間短縮要請に伴う協力金	感染症拡大防止のため、酒類を提供する飲食店等を対象とした県の時間短縮要請に応じて、要請期間中、要請に従った店舗に対する協力金を助成する。	1,699,264,000	令和3年1月18日～1月31日に県の時間短縮要請に応じた店舗に対する協力金を3,793店舗に助成した。 定額 560,000円	飲食店等における会食に起因する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与した。
合計			19,904,414,666		